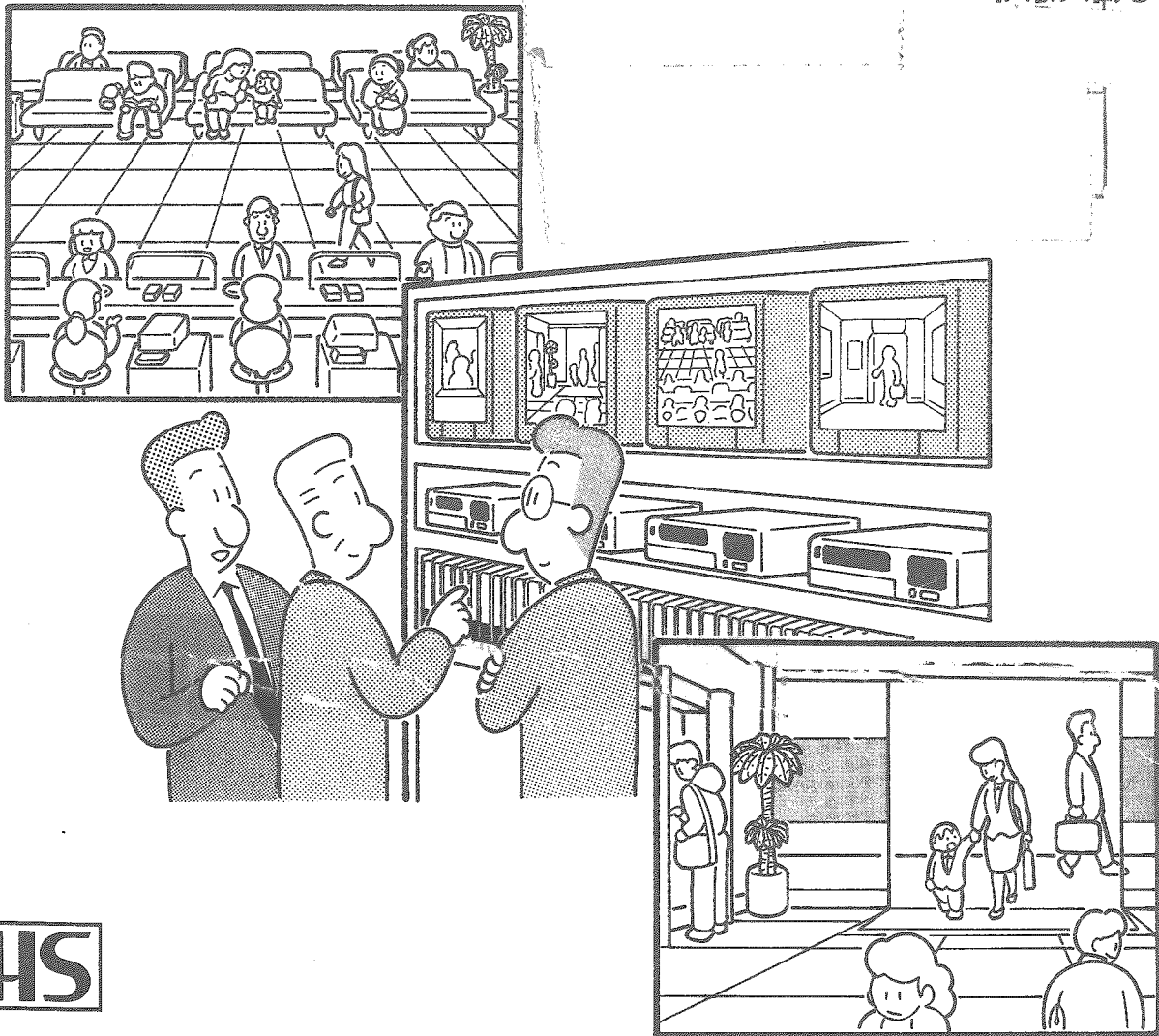


# Panasonic

## タイムラプスビデオ

### 品番 AG-6730

#### 取扱説明書



## S VHS

保証書別添

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店よりお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

- 本機は、当社タイムラプスビデオのNV-8050、AG-6050とは互換性がありません。
- 本機はS-VHS方式ビデオです。 **S VHS** マーク、 **VHS** マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。 VQT6404

# 目次

安全上のご注意	4
---------	---

## 本機について

特長	8
システム構成	10
操作ボタンの名称	12
表示管の説明	14

## はじめて操作なさる方へ

操作マップ	16
最初にこれだけの操作を /	18
録画	22
アラーム録画	24
内部タイマー録画	28
外部タイマー録画	32
再生	34
サーチ操作	36
日付・時刻合わせ	38
操作上のお願い	40

## メニュー画面について

メニュー画面とは	42
メニュー画面1(画面表示の設定)	44
メニュー画面2(VTRモードの設定1)	46
メニュー画面3(VTRモードの設定2)	48
メニュー画面4(アラーム録画モードの設定)	50
メニュー画面5(1コマ録画モードの設定)	52
メニュー画面6(内部タイマー録画モードの設定)	54
別売のRS-232C インターフェイスボードを装着の場合のみ	
メニュー画面7(RS-232C パラメータの設定)	56
メニュー画面8(タイムコードの設定)	58
メニュー設定上のお願い	60

## こんな機能もあります

シリーズ録画	62
1コマ録画	64
自動時刻合わせ	68
その他の機能	70

## 接続について ..... 71

機器の接続.....	72
ターミナルの接続.....	74
ターミナルの信号レベル.....	78

## 使用上のお願い ..... 79

露つき(d表示).....	80
エラーコード.....	81
日常点検/定期点検.....	82
取り扱い上のお願い.....	83
別売品について.....	84
こんなときは(Q&A).....	86
アフターサービス.....	88

## 定格 ..... 89

## メニュー画面の 機能別索引 ..... 裏表紙

本機について

はじめて  
操作なさる方へ

メニュー画面  
について

こんな機能  
もあります

接続について



使用上のお願い

# 安全上のご注意




必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 設置について

## 警告

### ■不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

### ■電源コード上に重い物を乗せない!



禁止

本機の下敷にならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。

### ■水場に設置しない!



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 警告

### 異常時の処理について

■本機を落としたり、破損した場合は電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。

●お買い上げの販売店にご相談ください。

■煙が出ている、変なにおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

●お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

●お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

### 使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



禁止

こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



禁止

火災・感電の原因となります。

■本機を改造しない！



分解禁止

火災・感電の原因となります。

■水場で使用しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等はずさない！



分解禁止

感電の原因となります。

●点検・整備・修理は販売店にご相談ください。

■消費電力が250ワットを越える装置は接続しない！



禁止

火災の原因となります。

●本機のACアウトレットが供給できる電力は250ワットまでです。

# 安全上のご注意

必ずお守りください。



## 警告

### 使用方法について

#### ■電源コードを

- 加工しない!
- 傷つけない!
- 無理に曲げない!
- ねじらない!
- 引っ張らない!
- 加熱しない!



火災・感電の原因となります。

禁止

#### ■機器がぬれたり、水が入らないようにする!



禁止

火災・感電をおこすおそれがあります。  
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

#### ■表示された電源電圧以外は使用しない!



禁止

火災・感電のおそれがあります。

### 設置について



## 注意

#### ■電源コードを熱機具に近づけない!



禁止

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

#### ■油煙や湯気が当たる場所に置かない!



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

#### ■湿気やほこりの多い場所に置かない!



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

#### ■ぬれた手でプラグを抜き差ししない!



禁止

感電の原因となることがあります。

#### ■プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない!



禁止

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
必ずプラグを持って抜いてください。

#### ■本機の通風孔をふさがない!



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。  
次のような使い方はしないでください。  
•本機を風通しの悪い所に押し込む。  
•テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

#### ■電源コードを下にたらしさない!



禁止

ふれたり、引っかけたりすると、落ちてけがをすおそれがあります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 注意

### 使用方法について

■本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

■本機に乗らない！



禁止

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。

■カセットテープ挿入口に手をはさまれないよう注意する！



指に注意

手をはさまれ、けがの原因となります。

■長期間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
●ビデオカセットは、取り出しておいてください。

### お手入れについて

■お手入れの際は安全のため、スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

■1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

# 特長

## 高信頼性のIQメカニズム

### 2リールモータ

テープの巻き取り・送り出しを行う2つのリールのそれぞれに専用のモータを搭載しています。

### 新ブラシレスモータ

DD (ダイレクトドライブ) モータ自体も、耐久性にすぐれている新開発のブラシレスモータを採用しています。

### 大径インピーダンスローラ

大口径で質量の大きい真ちゅうを採用し、テープテンションを一定に保ちます。

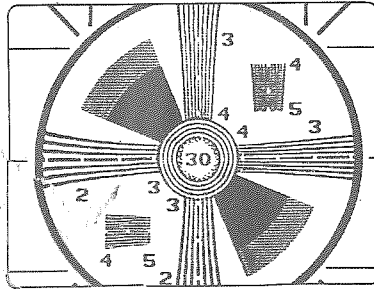
### 16ビットデジタルサーボ

走行系を高精度に制御し、テープ走行を安定させます。  
記録・再生時の精度が向上し、画質を総合的に高めています。

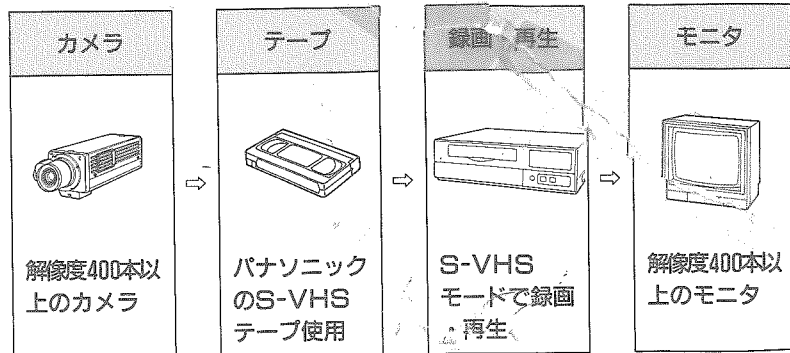
## 高画質なS-VHS方式

S-VHS方式を採用していますので、水平解像度400本以上の精細な画像を得ることができます。

水平解像度400本



\* 水平解像度400本以上を得るための条件





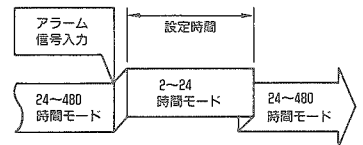
## 多機能な録画モード

- 長時間録画ができる多彩な録画時間モード
  - ・ 2、6、L12、L18、L24、24、48、72、84、120、180、240、480時間の録画モード
  - ・ 1コマ録画モード
- 監視機能の自動化、省力化が図れる内部タイマー録画モード
- より確実な作動が行える外部タイマー録画モード

- アラーム入力があると、克明な映像を録画できる時間モードに切り換わるアラーム録画モード

非常ベル、警報に連動

- CD、ATMコーナー
- コンビニエンスストアなど



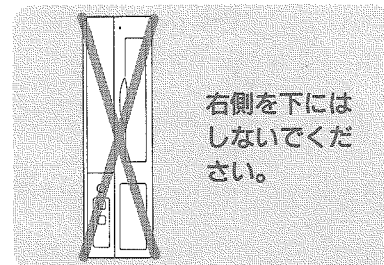
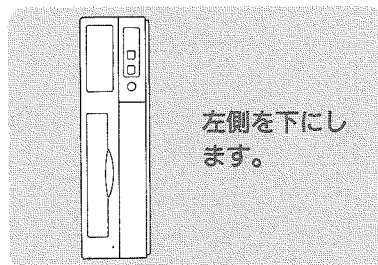
- ビデオ停止中、電源切り状態でもアラーム入力があると録画を開始するセンサー録画モード (エマージェンシ録画)  
内部タイマー録画モードの待機中でも、センサー録画ができます。



(アラーム/センサー録画時、時間モードを変更させないこともできます。)

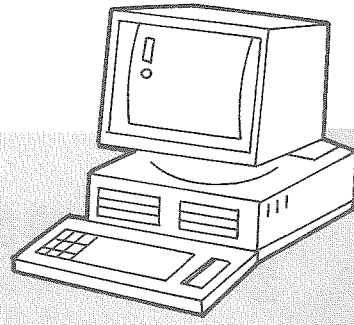
## その他の特長

- ローディング動作のたびに、クリーニングローラがヘッドシリンダーを自動的にクリーニングします。
- 別売品のRS-232CインターフェースアダプタAG-IA670を装着すると、パーソナルコンピュータを使用して、本機を制御することができます。また、VITCタイムコードを記録することもできます。(⇒85ページ)  
(1992年秋頃発売予定)
- 縦方向での設置にも対応した設計になっております。  
下図のように設置してください。



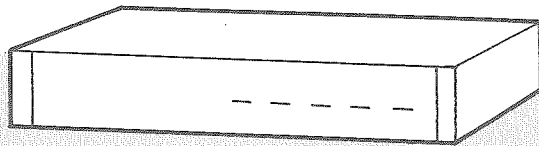
- VTRを縦方向に設置する場合は、必ず専用の取り付け金具 (別売品) で固定してください。

# システム構成



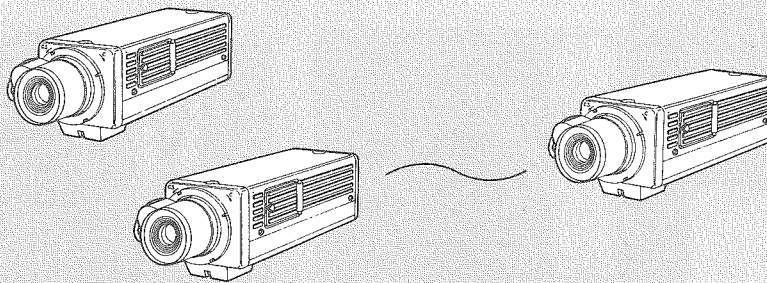
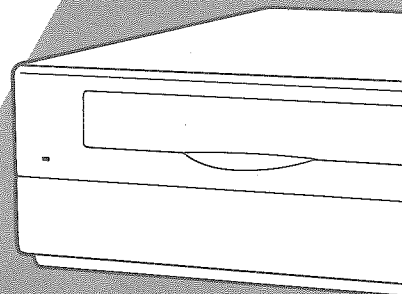
## パーソナルコンピュータ

- 別売品のインターフェイスアダプタAG-IA670を装着すると、RS-232C通信が行えます。



## シーケンシャルスイッチャ

- 複数のカメラを任意に設定した時間で自動切り換えを行い、録画することができます。
- カメラ入力端子にカラーカメラと白黒カメラの信号を同時に入力しないでください。同時に入力すると、モニタ画面上で画面が乱れたり、ノイズが発生する場合があります。

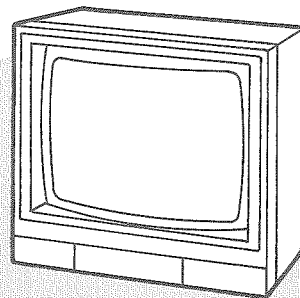


## テレビカメラ

- シーケンシャルスイッチャとのシステムを組むときは、ゲンロック同期をかけるビデオカメラをおすすめします。

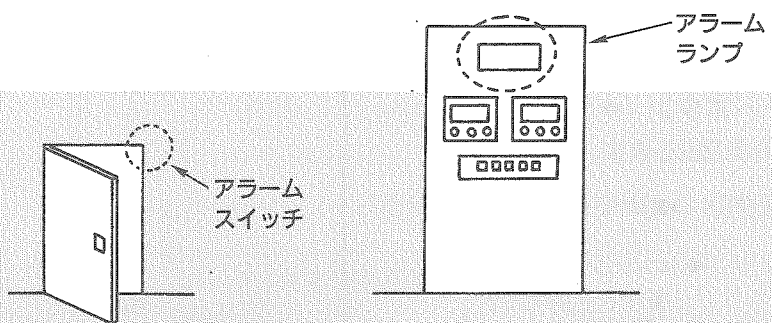
### 自動時刻合わせ

- 本機をマスター機として他のタイムラプスビデオ（パナソニックタイムラプスビデオで時刻合わせ入力端子を持っている機種に限る）の時刻を合わせることができます。
- 外部スイッチにより、本機の時刻を任意に設定した時刻（メニュー画面3で設定可能）に合わせることができます。



### モニタテレビ

- 通常の映像や、メニュー画面を表示します。

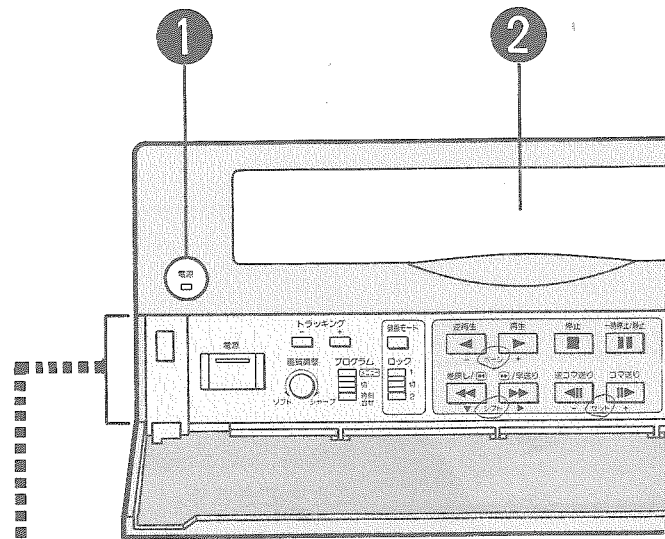


### 外部警報出力装置

- アラームスイッチの入により、アラーム録画やセンサー録画を開始させることができます。
- アラーム出力、テープ終端出力、オートオフ出力、露付出力など、外部に設けた警報装置を作動させることにより、本機の状態を確認することができます。

# 操作ボタンの名称

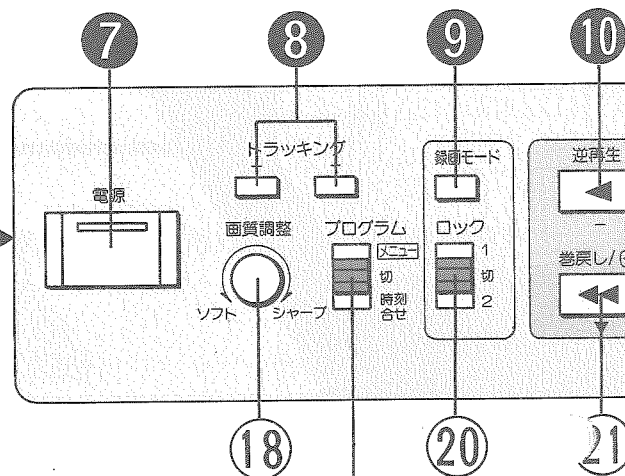
## 前面部



## 前面部

- ① 電源ランプ  
電源を入れると点灯します。
- ② カセット挿入口 (⇒18ページ)
- ③ 表示管 (⇒14ページ)
- ④ カセット取り出しボタン (⇒18ページ)
- ⑤ 録画チェックボタン (⇒20ページ)  
録画中に押すと録画内容を確認できます。
- ⑥ 録画ボタン (⇒22ページ)

## サブパネル 拡大図

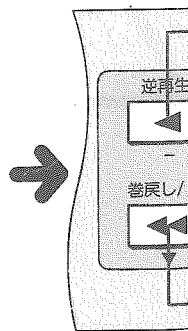


## サブパネル部

- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ トラッキング調整ボタン (⇒35ページ)  
トラッキングを調整します。
- ⑨ 録画モードボタン (⇒21ページ)  
録画モードを選択します。
- ⑩ 逆再生ボタン (⇒34ページ)
- ⑪ 再生ボタン (⇒34ページ)
- ⑫ 停止ボタン (⇒18ページ)
- ⑬ 一時停止/静止ボタン (⇒19ページ)  
録画の一時停止や静止画再生に使用します。
- ⑭ 時間モードボタン (⇒21ページ)  
時間モードを選択します。

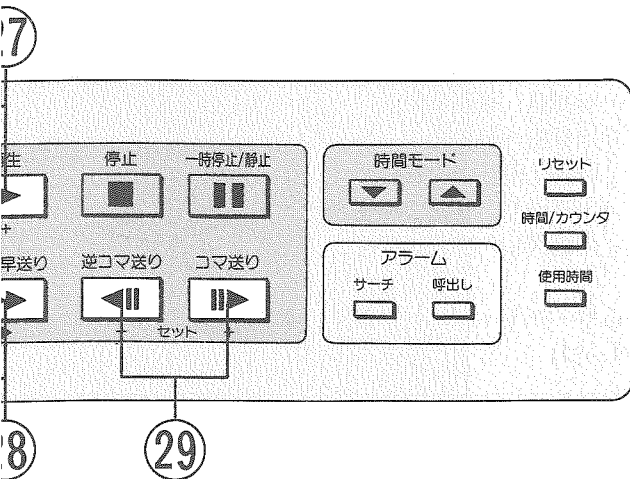
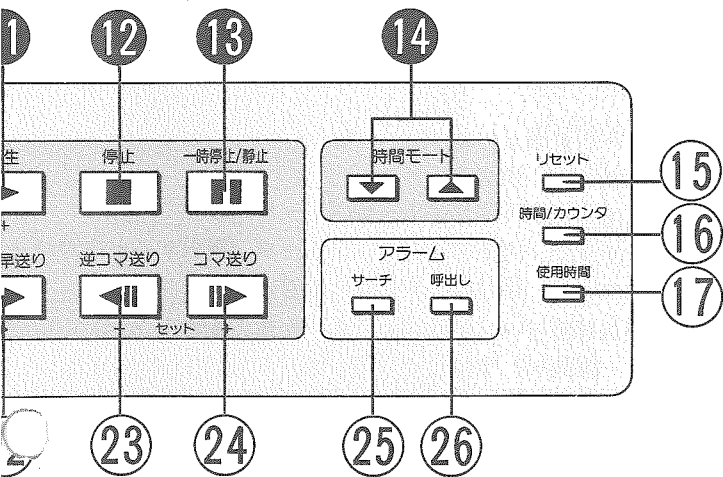
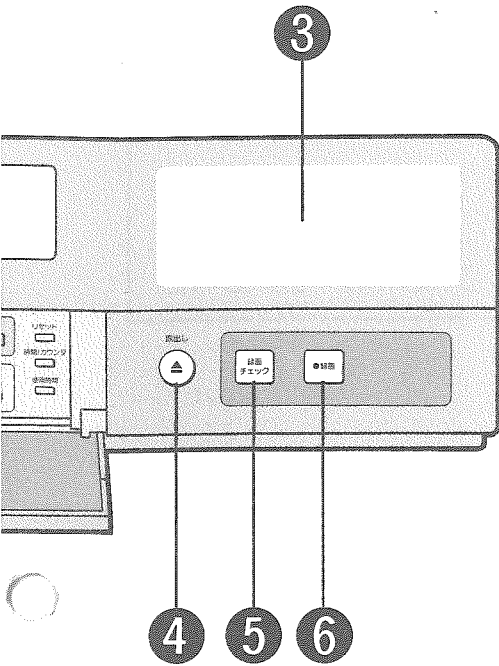
⑬

スイッチの位置を「メニュー」または「時刻合わせ」にしたときボタンの機能が変わります。

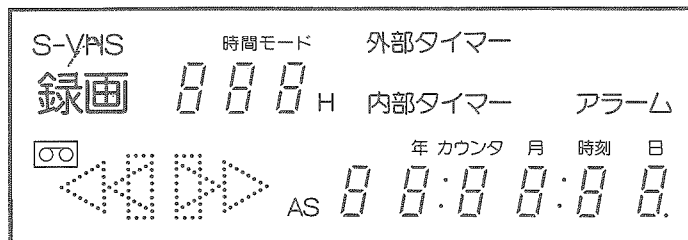


## サブパネル部

- ⑮ リセットボタン (⇒21、27、48ページ)  
データのリセットに使用します。
- ⑯ 時間/カウンタ表示切り換えボタン (⇒21ページ)  
時刻表示とテープカウンタの表示を切り換えます。
- ⑰ 使用時間モード (⇒85ページ)  
押すと、総使用時間 (シリンダー回転時間) が表示されます。
- ⑱ 画質調整つまみ (⇒35ページ)  
再生画質を調整します。
- ⑲ プログラムスイッチ (⇒20、38、43ページ)  
メニュー表示、時刻合わせを行うとき使用します。
- ⑳ 録画ロックスイッチ (⇒21ページ)  
録画ロックモードを設定します。
- ㉑ 巻戻しボタン (⇒19、36ページ)
- ㉒ 早送りボタン (⇒19、36ページ)
- ㉓ 逆コマ送りボタン (⇒19ページ)
- ㉔ コマ送りボタン (⇒19ページ)
- ㉕ アラームサーチボタン (⇒37ページ)  
アラームサーチ機能を設定します。
- ㉖ アラーム呼出しボタン (⇒27ページ)  
アラームメモリデータをモニタ画面に表示させます。
- ㉗ ページボタン (⇒43ページ)  
メニュー画面のページアップ、ダウンに使用します。
- ㉘ シフトボタン (⇒43ページ)  
項目の選択に使用します。
- ㉙ セットボタン (⇒43ページ)  
設定項目の内容選択に使用します。



# 表示管の説明



前面パネルにある大型表示管に本機の各種情報が表示されます。



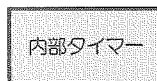
S-VHSモードで再生・録画時に表示します。



録画中に点灯します。



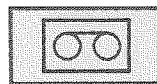
時間モードを表示します。



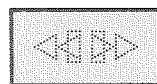
録画モードを表示します。  
無表示 : 通常モード  
外部タイマー : 外部タイマー録画モード  
内部タイマー : 内部タイマー録画モード (選択すると電源が切りの状態になります。)



アラーム録画モードが設定されると表示します。  
メニュー画面4の“MODE”を“OFF”以外にすると表示します。(⇒50ページ)



カセットマークです。  
カセットが挿入されると表示します。  
録画チェック後、エラーがあると点滅します。(⇒81ページ)



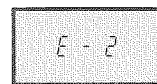
ビデオの動作モードを表示します。  
▷ = 再生  
◁ = 逆再生  
録画 ▷ = 録画、録画確認  
録画 □□ = 録画一時停止  
□□ = 静止画、コマ送り  
▷▷ = 早送り、早送り再生  
◁◁ = 巻戻し、巻戻し再生



アラームサーチモードのとき表示します。  
(⇒37ページ)



時刻・テープカウンタ値を表示します。



エラー発生時にはエラーコードを表示します。  
(⇒81ページ)

# はじめて 操作なさる方へ

操作全体の流れ

録画

再生

時刻合わせ

お願い

操作マップ	16
最初にこれだけの操作を /	18

録画	22
アラーム録画	24
・ センサー(エマージェンシ)録画モードについて	27
・ アラームメモリリコール機能について	27
内部タイマー録画	28
外部タイマー録画	32

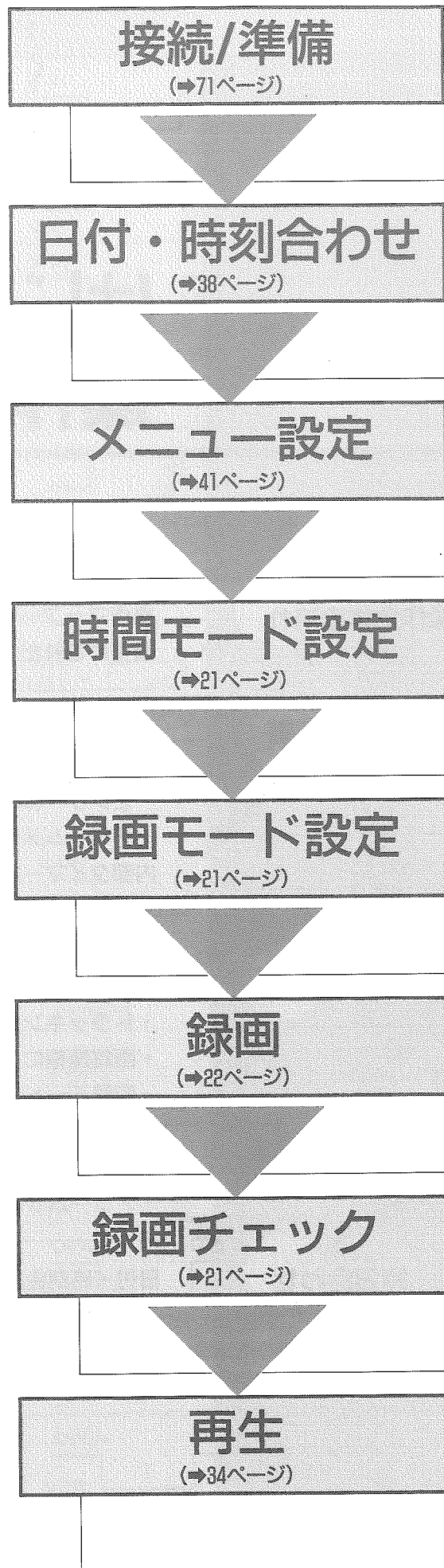
再生	34
・ トラッキング調整について	35
・ 画質調整について	35
・ 時間モードについて	35
サーチ操作	36
・ 早送り/巻戻し再生のしかた	36
・ アラームサーチのしかた	37

日付・時刻合わせ	38
----------	----

操作上のお願い	40
---------	----

# 操作マップ

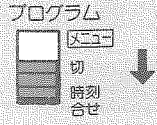
本機の接続から再生までの操作の流れを説明しています。



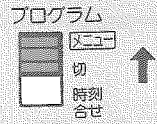


# メニュー画面

- 本機にカメラ、モニタ、シーケンシャルスイッチャ、アラームスイッチ、センサースイッチ、ブザーなど必要な接続をします。
- 本機および接続機器の電源を入れます。
- モニタテレビにカメラの映像がきれいに映っているか確認します。
- カセットテープを挿入します。



日付・時刻を設定します。



各メニューを設定します。  
(イジェクト、停止時および録画ロックスイッチが“切”の場合のみ操作可能)



時間モードを選択します。  
●メニュー画面2の REC T-MODE が “OFF”以外に設定されている場合、その時間モードで録画されます。



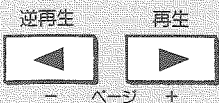
以下の三つのモードからひとつ選択します。  
●通常モード  
●外部タイマーモード  
●内部タイマーモード



押すと、録画が開始されます。



録画中に、今録画された内容を確認することができます。



- 再生
- 逆再生
- 早送り再生
- 逆戻し再生
- 1コマ送り
- 1コマ戻し
- 静止画再生
- 逆戻し再生 (⇒19ページ)

```

((DISPLAY))
MODE          T/D
CHARACTER     WHITE
POSITION      L-UPPER
TIME SELECT   24HOURS
DATA          ON
TIME          ON
T-MODE        ON
    
```

メニュー画面1  
・画面表示の設定

```

((VTR MODE SELECT 1))
(REC T-MODE) OFF
(TAPE IN)      STOP
MODE          STOP
(TAPE END)     STOP
MODE          STOP
ALARM IN      STOP
(EJECT OPERATION)
MODE          EJECT
(AC OUT LET)  LINK
    
```

メニュー画面2  
・VTRモードの設定1

```

((VTR MODE SELECT 2))
(POWER LOSS MEMORY)
** ** ** ** **
(VIDEO)
MODE          AUTO
IN            LINE
S-VHS REC    ON
(TIME ADJUSTING)
SET TIME     9:00
OPERATION    SLAVE
    
```

メニュー画面3  
・VTRモードの設定2

```

((ALARM/SENSOR REC))
MODE          OFF
DURATION      0.5MIN
BUZZER        OFF
REPEAT IN     OFF
(RESET PULSE)
INPUT LEVEL   HIGH
(CAMERA SW)
TIMING        1FIELD
MODE          TH2
    
```

メニュー画面4  
・アラーム録画モードの設定

```

((1-SHOT REC))
FIELD         1
INTERVAL      3MIN
    
```

メニュー画面5  
・1コマ録画モードの設定

```

((INTERNAL TIMER REC))
(TIMER) START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

メニュー画面6  
・内部タイマー録画モード設定

(メニュー画面1へ戻る)

- 別売品のインターフェイスボードを装置すると以下の画面も表示されます。

(メニュー画面7へ移る)

```

((RS-232C PARAMETER))
BIT LENGTH    7BIT
STOP BIT      STOP-1
PARITY        ODD
BAUD RATE     9600
    
```

メニュー画面7  
・RS-232Cパラメータの設定

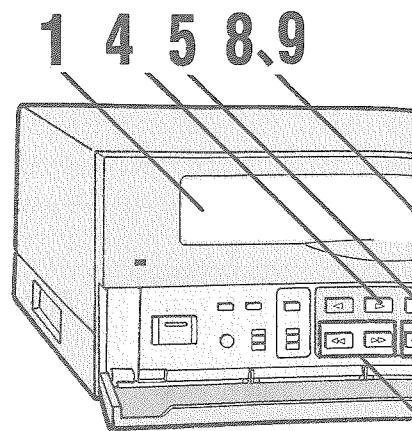
```

((TIME CODE))
MODE          REGEN
VITC REC     ON
POSITION     11H.13H
TC PRESET   00:00:00
UB PRESET   00:00:00
    
```

メニュー画面8  
・タイムコードの設定

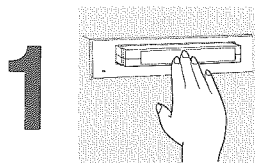
(メニュー画面1へ戻る)

# 最初に これだけの 操作を！

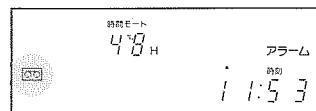


本機をご使用になるとき、最初にこれだけの操作だけは覚えておきましょう。

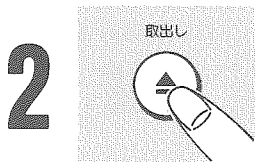
## ■カセットの入れかた



中央部をゆっくり  
押す  
無理に入れない！

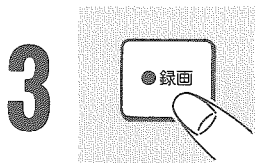


## ■カセットの取り出し方

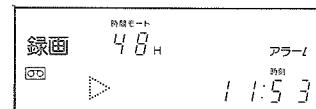


押す  
(しっかり押さないと動作しません。)

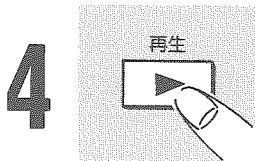
## ■録画のしかた



押す  
(⇒注1)



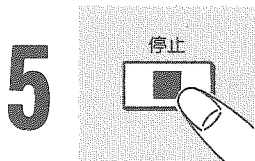
## ■再生のしかた



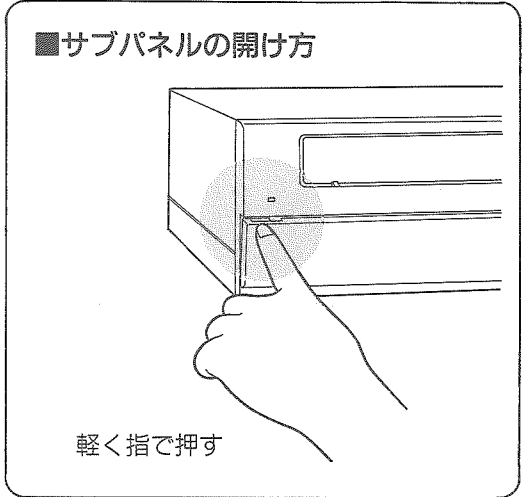
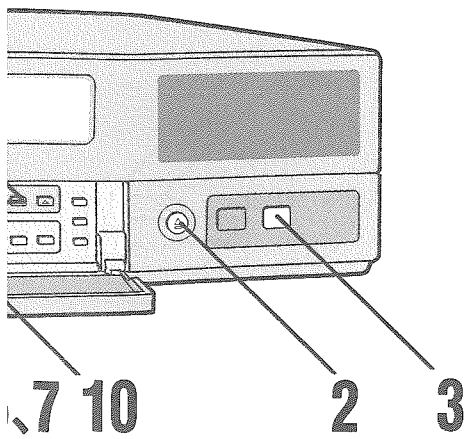
押す



## ■停止のしかた

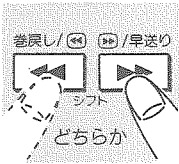


押す  
すべてのテープ走行が  
停止します。



■早送り/巻戻しのしかた

6

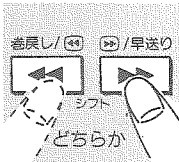


停止中に  
押す



■早送り/巻戻し再生のしかた

7

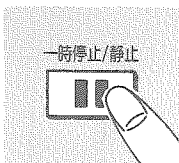


再生中に  
押し続ける  
(⇒注2)

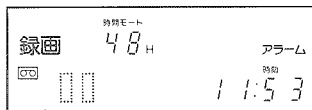


■録画の一時停止のしかた

8

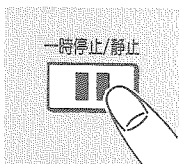


録画中に  
押す  
(⇒注3)

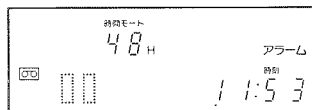


■静止画再生のしかた

9

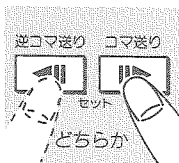


再生中に  
押す  
(⇒注3)

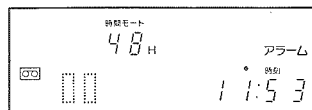


■コマ送り再生のしかた

10



静止画再生中に  
押す  
(⇒注3)



ノート

(注1)

カセットの誤消去防止つめが折れていると、カセットが出てきます。  
(⇒40ページ)

(注2)

アラームサーチモードにすると、早送り/巻戻し再生を、一度ボタンを押すだけで、動作を継続させることができます。  
(⇒36ページ)

(注3)

一時停止、静止画再生状態は、テープ保護のため、一定時間がすぎると停止モードになります。

(オートヘッドクリーナ機能について)

停止状態から録画・再生を開始したときや、録画・再生状態から停止状態に移行したとき、自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きますのできれいな画像が得られます。

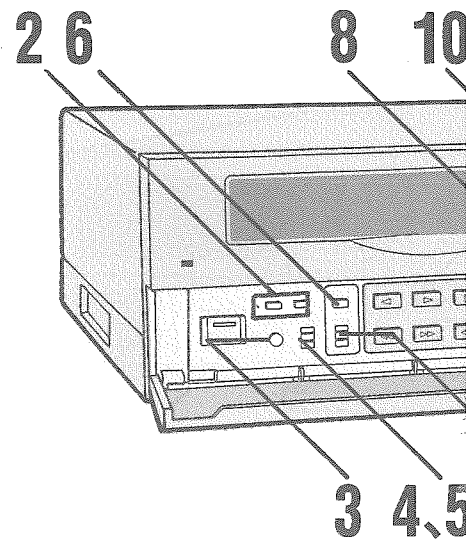
ただし、長期間ビデオを使用すると、ビデオヘッドが汚れてくることがあります。

そのときは、ヘッドクリーニングの必要があります。

ヘッドクリーニングには、別売のヘッドそうじ用カセットNV-TCLP (非研磨性) をおすすめします。

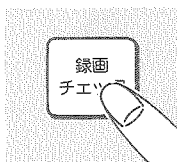
# 最初に これだけの 操作を!

つづき



## ■録画確認のしかた

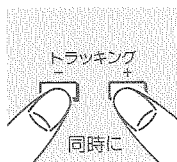
1



録画中に  
押す  
(⇒注1)

## ■トラッキング調整のしかた

2



再生中に  
まず同時に押す  
それでも調整できない場合は、  
+または-ボタンを単独で押す  
(⇒35ページ)

## ■画質調整のしかた

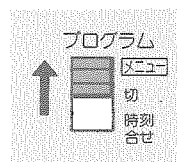
3



(再生中に)  
回す  
(⇒35ページ)

## ■メニュー画面の出しかた

4

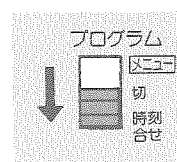


停止/イジェクト時、  
“メニュー”にする  
・録画ロックスイッチが  
設定されているとメニ  
ュー画面は表示されま  
せん。

〔DISPLAY〕	
MODE	T/D
CHARACTER	WHITE
POSITION	L-UPPER
TIME SELECT	24HOURS
DATA	ON
TIME	ON
T-MODE	ON

## ■時刻合わせ表示の出しかた

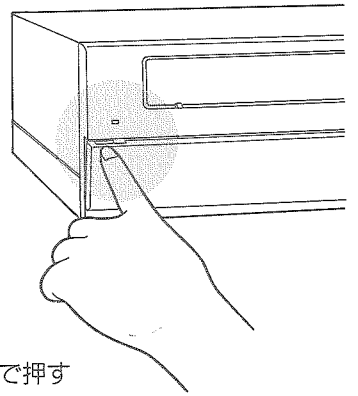
5



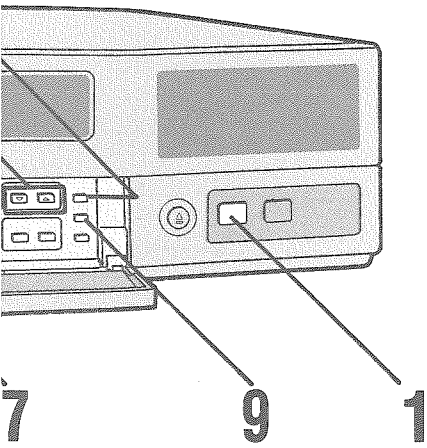
停止/イジェクト時、  
“時刻合わせ”にする  
・録画中に設定すると、  
時刻合わせ画面が録  
画されます。

TIME ADJUST	
92- 8-25 TUE	
13:22:00	

## ■サブパネルの開け方



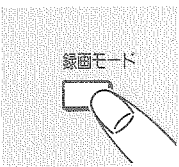
軽く指で押す



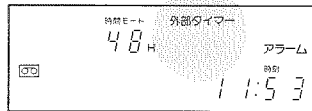
## ノート

### ■録画モードの選択

6

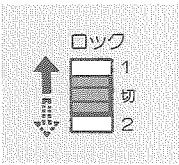


録画前に  
押して  
選択する  
(⇒注2)



### ■録画ロックのかけかた

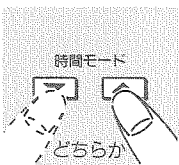
7



録画中に  
“1”または“2”  
にする  
(⇒注3)

### ■時間モードの選択

8



録画、再生前(中)に  
押して  
選択する  
(⇒注4)

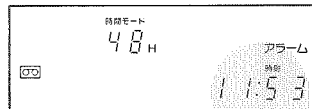


### ■時刻・テープカウンタの表示切り換え

9

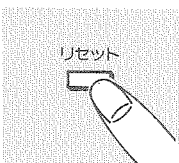


押すごとに  
切り換わる



### ■テープカウンタのリセット

10



カウンタ表示中に  
押す



### (注1)

録画中、録画チェックボタンを押した寸前の画像を一部再生し、再度録画モードに戻ります。(再生画像が現れるまで3秒程かかります。)

録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化により適正なビデオレベルが得られなかった場合、表示管のカセットマーク ( ) が点滅します。(⇒81ページ)

・録画開始ごとに、録画チェックを自動的に行う機能を設定することもできます。(⇒70ページ)

### (注2)

録画モードは、ボタンを押すごとに外部タイマー→内部タイマー→無表示に変わります。内部タイマーにすると、電源が切り状態になります。(⇒31ページ)

### (注3)

録画ロックをかけると、録画開始後、通常の操作が行えなくなります。

1：録画チェックのみ可能

切：通常操作可能

2：録画チェック、イジェクトのみ可能

(ただし、使用時間ボタンは常に操作可能です。)

### (注4)

時間モードは以下のとおりです。

2Hモード：標準モード

6Hモード：3倍速モード

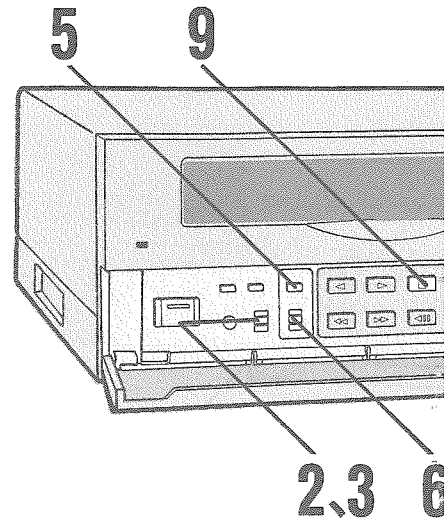
L12~L24Hモード：リニアスローモード

24~480Hモード：タイムラプスモード

000Hモード：1コマ録画モード

録画時間モードについては、46、60ページを参照してください。

# 録画



録画の開始から終了までの操作を説明しています。

- 1
  - 接続、接続機種種の準備を完了させる (⇒71ページ)
  - 電源を入れる
  - つめの折れていないカセットを入れる (⇒40ページ)  
(⇒注1)

- 2
 

日付・時刻を  
合わせる  
(⇒38ページ)  
(⇒注2,3)

TIME ADJUST  
92- 8-25 TUE  
13:22:00

- 3
 

メニュー設定を  
する  
(⇒41ページ)  
(⇒注3)

(DISPLAY)  
MODE T/D  
CHARACTER WHITE  
POSITION L-UPPER  
TIME SELECT 24HOURS  
DATA ON  
TIME ON  
T-MODE ON

- 4
 

押して、  
時間モードを  
設定する  
(⇒注4)

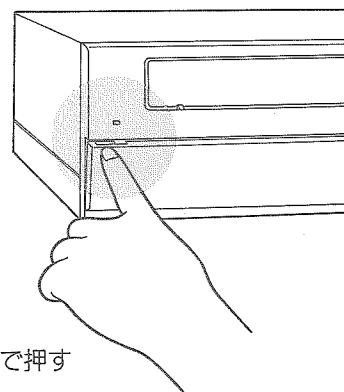
時間モード 48 H アラーム 11:53

- 5
 

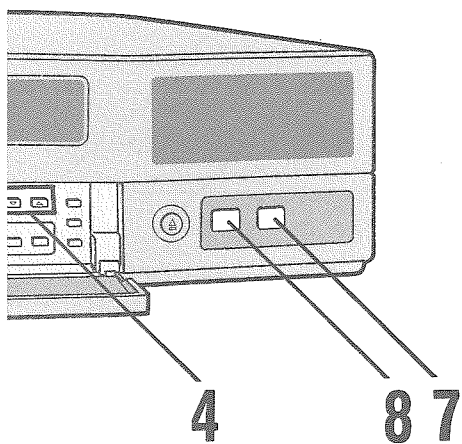
押して、  
録画モードを  
設定する  
(⇒注5)

時間モード 48 H 外部タイマー アラーム 11:53

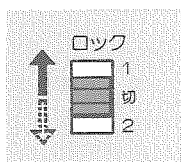
## ■サブパネルの開け方



軽く指で押す

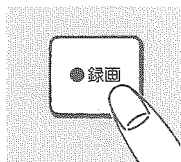


# 6

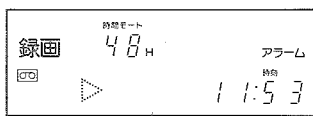


録画ロックを設定する場合は“1”または“2”にする

# 7



押すと、録画が開始する

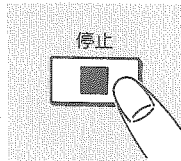


# 8



録画中に、押すと録画チェックできる

# 9



押すと、停止する  
(⇒注6)

## ■推奨テープ

本機は監視・保安・観察など高信頼性を要求される商品として設計されています。録画の信頼性を確保するため以下のパナソニックビデオテープの使用をお勧めします。

VHSテープ：NV-T30, T60, T90, T120シリーズ

S-VHSテープ：NV-ST60, ST90, ST120シリーズ

## ノート

(注1)

メニュー画面2で自動録画機能の設定ができます。  
(⇒46ページ)

(注2)

メニュー画面3で自動時刻合わせ機能を設定できます。  
(⇒49、70ページ)

(注3)

時刻合わせ、メニュー設定の終了後は、必ずプログラムスイッチを“切”に戻します。

(注4)

時間モードの設定は、メニュー画面2の“REC T-MODE”が“OFF”以外の場合、録画開始すると、“REC T-MODE”で設定した時間モードになります。  
(⇒46ページ)

(注5)

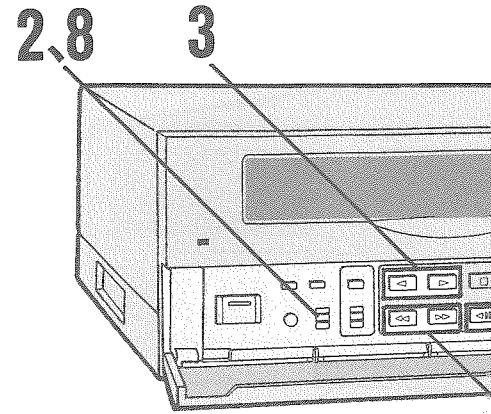
内部タイマー：内部タイマー録画モード  
外部タイマー：外部タイマー録画モード  
無表示：通常モード

内部タイマー録画モードを選択すると、電源が切りの状態になります。  
(⇒31ページ)

(注6)

録画ロックスイッチが“切”以外の位置に設定されている場合は、“切”に戻してから停止ボタンを押してください。

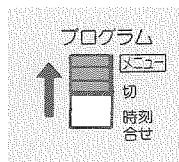
# アラーム録画



アラーム録画とは、タイムラプス録画時にアラーム入力があると、時間モードが鮮明に録画できる時間モードに変わり、異常事態を克明に録画するためのものです。

**1** 22ページの1~4の操作を完了させます。

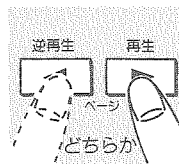
**2**



“メニューにする”

((DISPLAY))	
MODE	T/D
CHARACTER	WHITE
POSITION	L-UPPER
TIME SELECT	24HOURS
DATA	ON
TIME	ON
T-MODE	ON

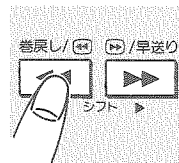
**3**



押して、  
メニュー画面4を  
表示させる

((ALARM/SENSOR REC))	
MODE	OFF
DURATION	0.5MIN
BUZZER	OFF
REPEAT IN	OFF
(RESET PULSE)	
INPUT LEVEL	HIGH
(CAMERA SW)	
TIMING	1FIELD
MODE	TM2

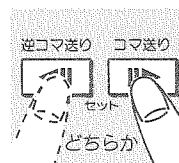
**4**



1回押す

((ALARM/SENSOR REC))	
MODE	OFF
DURATION	0.5MIN
BUZZER	OFF
REPEAT IN	OFF
(RESET PULSE)	
INPUT LEVEL	HIGH
(CAMERA SW)	
TIMING	1FIELD
MODE	TM2

**5**

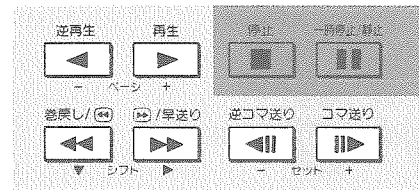


押して、  
アラーム録画時の  
録画時間モードを  
選択する  
(⇒注1)

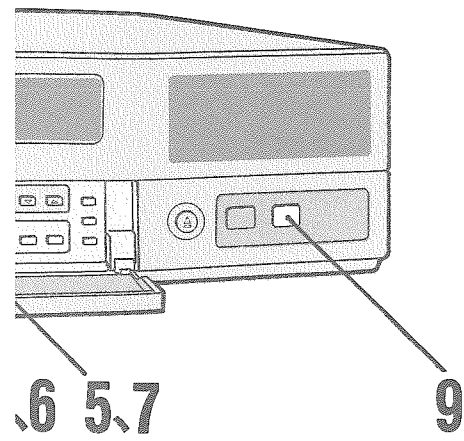
((ALARM/SENSOR REC))	
MODE	2H
DURATION	0.5MIN
BUZZER	OFF
REPEAT IN	OFF
(RESET PULSE)	
INPUT LEVEL	HIGH
(CAMERA SW)	
TIMING	1FIELD
MODE	TM2



(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)



**6** 巻戻し/シフト 1回押す

```
(ALARM/SENSOR REC)
MODE 2H
DURATION 0.6MIN
BUZZER OFF
REPEAT IN OFF
(RESET PULSE)
INPUT LEVEL HIGH
(CAMERA SW)
TIMING 1FIELD
MODE TM2
```

**7** 逆コマ送り コマ送り 押して、録画間隔を選択する (⇒注2)

```
(ALARM/SENSOR REC)
MODE 2H
DURATION 0.6MIN
BUZZER OFF
REPEAT IN OFF
(RESET PULSE)
INPUT LEVEL HIGH
(CAMERA SW)
TIMING 1FIELD
MODE TM2
```

**8** プログラム 切 時刻合せ “切”にする (⇒注3)

通常画面

**9** 録画 押す

録画 48H アラーム 11:53

**10** 録画が開始されます。  
録画のしかたについては、22ページを参照ください。

↓(操作続く)

ノート

(注1)

- ・アラーム録画を行わない場合は、“OFF”に設定します。
- ・“MODE”を“OFF”以外に設定すると、表示管に“アラーム”が表示されます。
- ・録画時間の設定は以下のとおりです。  
2, 6, L12, L18, L24, 24時間, NO CHANGE (時間モードの変更なし)  
(⇒50ページ)

(注2)

録画間隔とは、アラーム録画を行う時間です。  
(⇒50ページ)

(注3)

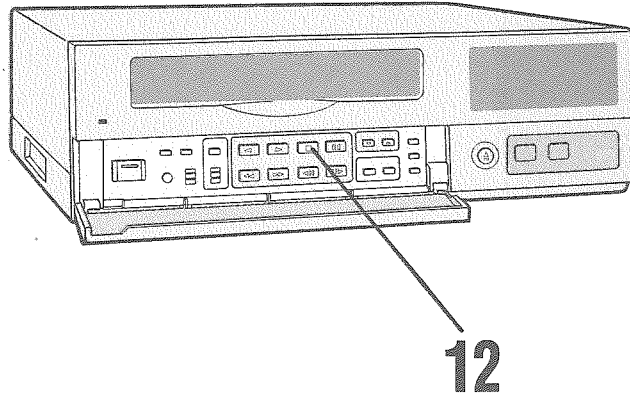
メニュー画面での設定は、プログラムスイッチを“切”にした時点で確定されます。

(その他)

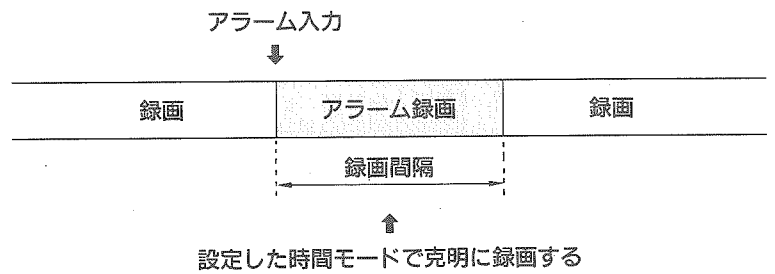
- メニュー画面4では、ここでの設定以外に
- ・アラーム録画時のブザーON/OFF
  - ・リピートイン機能の設定
  - ・アラームリセットパルスのレベル選択
  - ・カメラ切り換えタイミング
- などの設定もできます。  
(⇒50ページ)

# アラーム録画

つづき

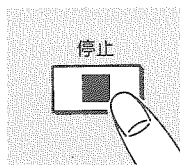


## 11 アラーム入力があると、アラーム録画モードになる



- 一度アラーム録画が行われると、表示管に“アラーム”が点滅します。停止ボタンを押すと表示は消灯します。

## 12



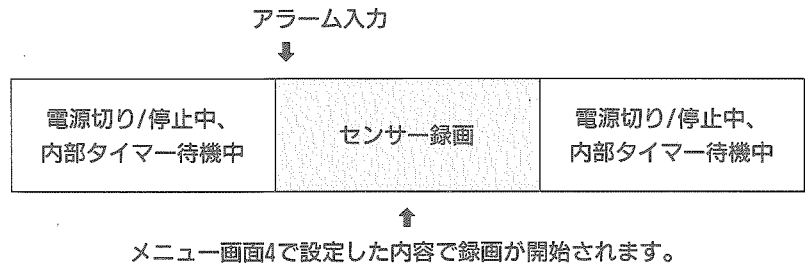
録画を、  
停止させるとき  
押す

# センサー(エマージェンシ)録画モードについて

■電源が切れている状態、停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、センサー(エマージェンシ)録画が開始されます。

■センサー録画モードとアラーム録画モードの内容は同じです。

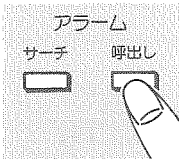
■メニュー画面4の“MODE”が“OFF”に設定されているとセンサー録画は働きません。



# アラームメモリリコール機能について

アラーム録画が働いた日時、回数を記憶する機能です。

サブパネル右側



押すと、  
アラームリストが  
表示される

■過去8回までのデータを記憶します。

■アラーム回数のメモリは99回までで、それ以上は00に戻ります。

■アラームリコール画面が表示中に、リセットボタンを押すと、メモリをクリアすることができます。

■表示は30秒たつと自動的に消えます。再度、アラームリコールボタンを押しても消えます。

■センサー録画もアラーム録画と同様にアラームメモリデータに記憶されます。

モニタ

〔〔ALARM RECALL MEMORY〕〕		
NO.	DATE	TIME
09	92-10-09	7:00
08	92-10-01	6:00
07	92-09-28	7:00
06	92-09-21	12:00
05	92-09-12	9:00
04	92-08-13	10:00
03	92-08-11	17:00
02	92-08-05	23:00

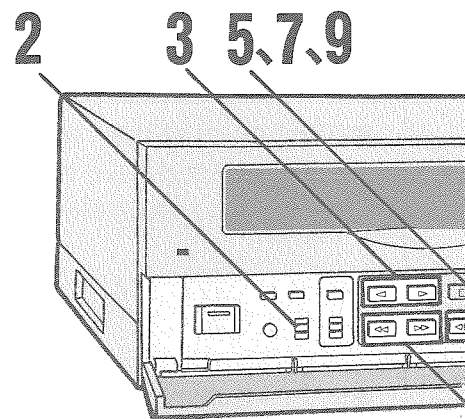
↑  
アラーム番号  
上から順に  
最新データ  
が表示され  
ます。

↑  
アラーム入力のあった日付と時刻

■アラーム録画が無かった場合や、リセットした場合は以下のように表示されます。

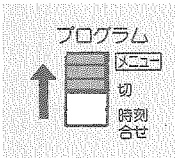
〔〔ALARM RECALL MEMORY〕〕		
NO.	DATE	TIME
??	??-??-??	?:??
??	??-??-??	?:??
??	??-??-??	?:??

# 内部タイマー 録画



内部タイマーを使用して、任意に設定した時間に、録画の開始・終了を行うことができます。

**1** 22ページ1～2の操作を完了させます。

**2**  “メニューにする”  
(⇒注1)

```

((DISPLAY))
MODE           T/D
CHARACTER      WHITE
POSITION       L-UPPER
TIME SELECT    24HOURS
DATA           ON
TIME           ON
T-MODE         ON
    
```

**3**  押して、  
メニュー画面6を  
表示させる

```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**4**  押す

```

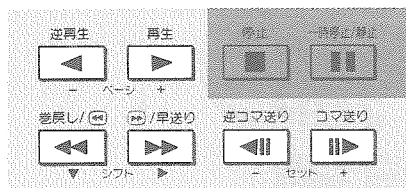
((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**5**  押して、  
“ON”を選択する  
(⇒注2)

```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 0:00 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

6, 8, 10

6

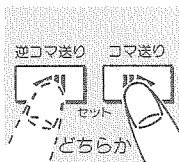


押す  
開始時刻を設定します。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 0:00 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

7

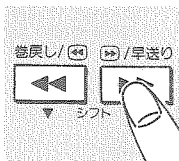


押して、  
開始時刻の“時”を  
設定する

```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10:00 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

8

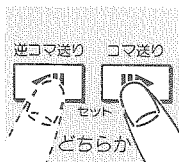


押す

```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10:30 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

9

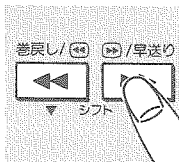


押して、  
開始時刻の“分”を  
設定する

```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10:30 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

10



押す  
終了時刻を設定します。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10:30 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

↓(操作続く)

ノート

(注1)

メニュー画面が表示できるのは、ビデオが停止/イジェクト状態の場合のみです。

(注2)

タイマー録画を設定しない場合は“OFF”のままにしておきます。

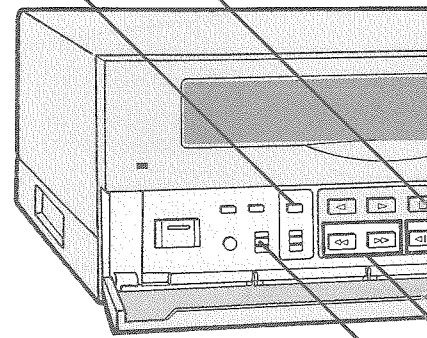
(その他)

内部タイマーの設定を行う前に、日付・時刻の設定は、必ず完了させておいてください。

# 内部タイマー 録画

つづき

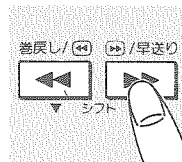
19、20 13、16



18

**11** 開始時刻の設定(7~9の操作)と同様にして終了時刻の“時”“分”を設定します。

**12**

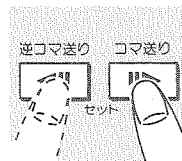


押す

```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10:30 12:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**13**



押して、  
録画時間モードを  
選択する  
(⇒注1)

```

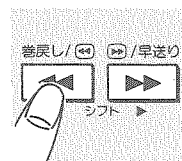
((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10:30 12:00 48
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**14** 4~13の操作を繰り返して、各曜日ごとに録画開始・終了時刻、録画時間モードを設定します。

↑ここまではウイクリータイマーの設定です。(⇒注2)

↓ここからはデイリータイマーの設定です。(⇒注2)

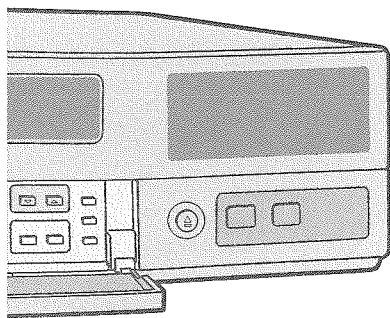
**15**



押す

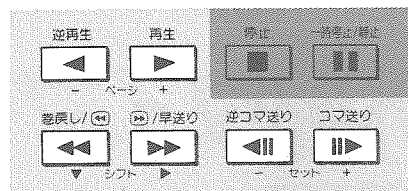
```

((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10:00 12:00 48
MON ON 10:00 16:00 72
TUE OFF
WED OFF
THU ON 10:00 18:00 72
FRI OFF
SAT ON 9:00 12:00 48
DLY OFF
    
```



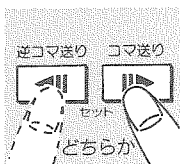
## 2.15

### (メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

## 16



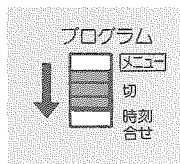
押して、  
“ON”を選択する  
(⇒注3)

((INTERNAL TIMER REC))			
(TIMER)	START	END	T-M
SUN	ON	10:00	12:00 48
MON	ON	10:00	16:00 72
TUE	OFF		
WED	OFF		
THU	ON	10:00	18:00 72
FRI	OFF		
SAT	ON	9:00	12:00 48
DLY	ON	10:00	0:00 72

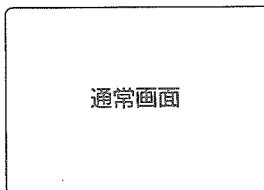
## 17

7~12の操作を繰り返して、ウイクリータイマーと同様に、録画開始・終了時刻、録画時間モードを設定します。

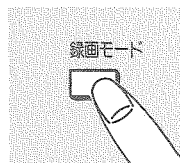
## 18



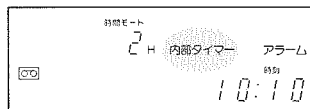
“切”にする  
(⇒注4)



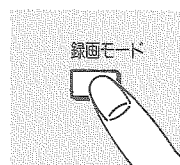
## 19



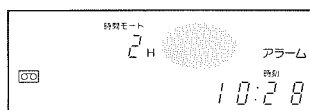
押して、  
“内部タイマー”を  
表示させる  
(⇒注5)



## 20



解除するには  
押して  
“内部タイマー”  
を消灯させる



## ノート

### (注1)

デイリータイマーとウイクリータイマーが同じ時間帯に重なった場合、録画時間モードはデイリータイマーが優先されます。

(⇒55ページ)

### (注2)

ウイクリー (曜日) タイマーとは各曜日ごとに異なった時間帯でタイマーを設定することができます。

### デイリー (毎日) タイマーとは

毎日の決まった時間帯にタイマーを設定することができます。

### (注3)

デイリータイマーを設定しない場合、16の操作で“OFF”に設定します。

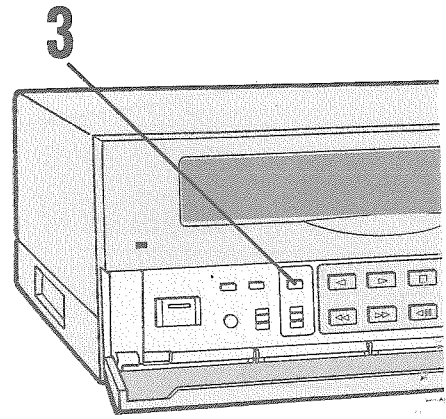
### (注4)

メニュー画面で設定した内容は、プログラムスイッチを“切”に戻した時点で確定されます。一旦設定された内容は、半永久的に保持されず。

### (注5)

録画モードを“内部タイマー”に設定すると、電源が切れた状態になります。設定した時刻になると、自動的に録画が開始されます。

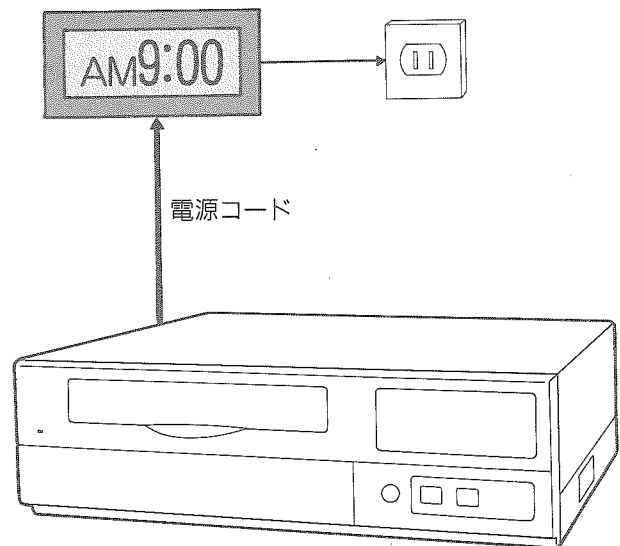
# 外部タイマー 録画



外部に設けたオーディオタイマーなどで、本機への電源供給をオン/オフし、タイマー録画することができます。

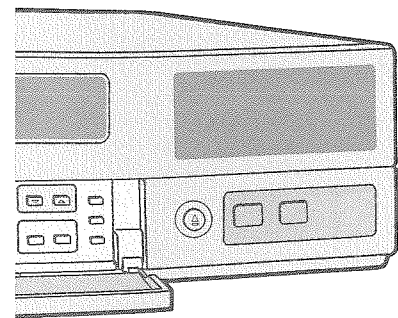
**1** 22ページの1~4の操作を完了させます。

**2** 外部タイマー(オーディオタイマーなど) を接続します。

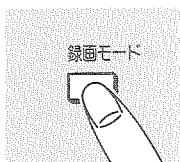


■ビデオの設定が終わるまでは、通電状態にしておいてください。

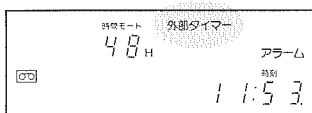




3



押して、  
“外部タイマー”を  
表示させる  
(⇒注1)



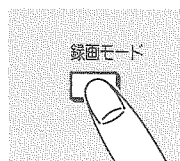
4

■外部タイマー側の設定を行います。  
(⇒注2)

5

■外部タイマーで設定した時刻になると、  
録画が開始されます。

6



解除するには  
通電状態のときに  
押して  
“外部タイマー”  
を消灯させる。



## ノート

### (注1)

カセットが挿入されていなかったり、カセットの誤消去防止つめが折れている場合、ブザー音とともに“外部タイマー”が点滅します。

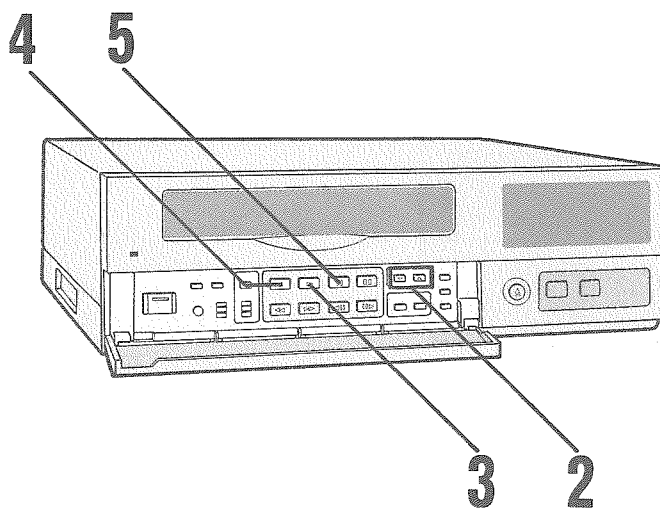
### (注2)

外部タイマーの設定のしかたについては、外部タイマーに添付されている取扱説明書をご参照ください。

### (その他)


外部タイマー録画モードで、通電されていない状態のとき、アラーム入力があっても、センサー録画は開始されません。


# 再生




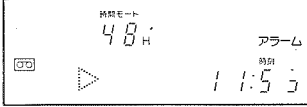
録画した内容を映し出す操作です。

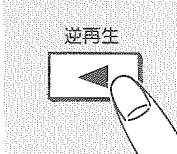
- 1 ■接続、接続機種<sup>※</sup>の準備を完了させる (⇒71ページ)  
■電源を入れる  
■録画済みのカセットを入れる

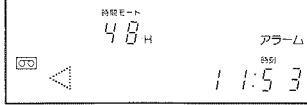
- 2  押して、  
時間モードを  
選択する  
(⇒右ページの時間モー  
ドについて)

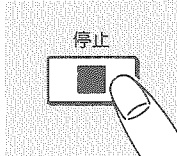


- 3  通常の再生の  
場合に押す



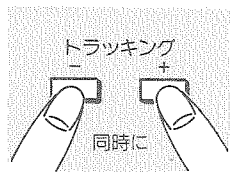
- 4  逆方向再生の  
場合に、押す  
|コマ録画の逆再生は  
できません。



- 5  再生を  
停止するときに  
押す

## トラッキング調整について

再生画にこんなノイズが現れたら



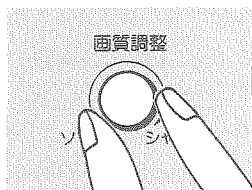
■本機は、オートトラッキング機能を搭載していますので通常は、トラッキングの調整は不要です。

しかし右のようなノイズが出る場合は、トラッキングの再調整を行ってください。

■＋ボタンを同時に押します。

それでもノイズがでる場合は、＋または－ボタンを単独で押します。

## 画質調整について



再生画の調整を行う場合

■右に回すと、ハッキリした画像になります。

■左に回すと、やわらかい画像になります。

## 時間モードについて

■間欠録画されたテープを同じ時間モードで再生する場合、次の点にご注意ください。

- ・画像が多少横ゆれを起こしますが、異常ではありません。
- ・画像の上部が少し歪む場合がありますが、異常ではありません。
- ・L12～L24モードにおいては画面ゆれが発生しますが、異常ではありません。
- ・音声は完全な状態では再生されませんが、異常ではありません。

■記録する時間モードによって再生出来ない時間モードがあります。

録画時間モード	再生可能時間モード	備 考
2H、L12～480H	2H、L12～480H	再生時間モードを6Hにしても、6Hモードにはなりません。
6H	6H、L12～480H	再生時間モードを2Hにしても、2Hモードにはなりません。

■12H以上の記録モードで記録したテープを2Hモードで再生すると、クイックモーションで再生できます。

■音声の記録時、記録したモードと再生するモードが異なる場合は、音程も変化します。

## その他

■逆再生時は、音声はできません。

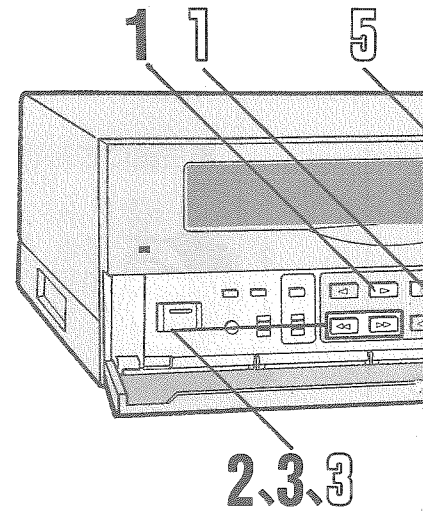
■1コマ録画モードは逆再生できません。

■再生時に、録画済みテープの時間モードが2Hの場合は2Hモードに、6Hの場合は6Hモードに自動で切り換わります。

■L（リニアスロー）モードでの再生では、画面ゆれが発生しますが異常ではありません。

■6Hモードで録画されたテープをリニアスローモードで再生すると、画面にノイズが多く出ますが異常ではありません。

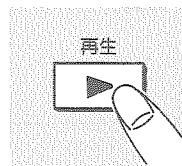
# サーチ操作



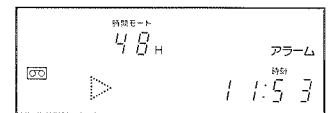
## ■サーチ再生（早送り/巻戻し再生）のしかた

サーチ再生、アラームサーチ再生を行う操作です。

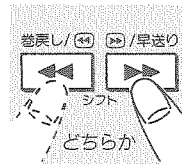
1



押して、再生を開始する



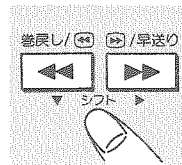
2



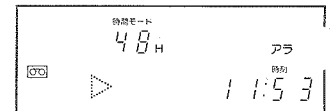
押し続ける  
(⇒注1)



3

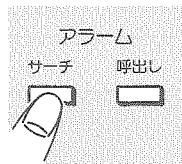


指を離すと通常再生に戻る



サーチ操作を継続させる場合は、アラームサーチモードにします。

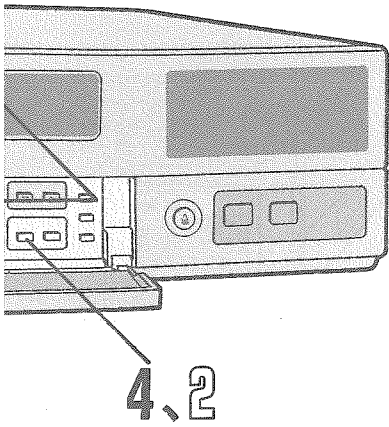
4



押して“AS”を表示させる

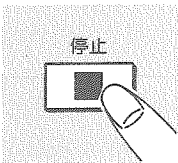


- 再生中に、早送り/巻戻しボタンを押すと、サーチ動作が継続して行われます。
- 再度、再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。



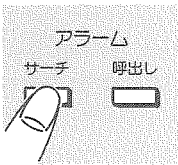
アラームサーチ(アラーム録画部分の検索)のしかた

1



押して、  
停止状態にする

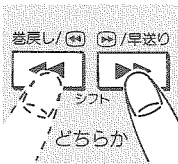
2



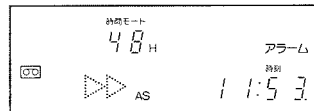
押して  
“AS”を  
表示させる  
(⇒注2)



3



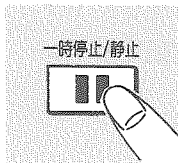
押して、  
早送り/巻戻し  
させる



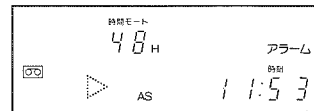
4

押されたボタンの方向で、最初のアラーム録画部分を  
サーチして、静止画再生になる  
(⇒注3)

5



再生する場合  
押す



ノート

(注1)

サーチ再生は、巻戻しボタンを押すと、標準モード(2H)を5倍速で逆方向に再生し、早送りボタンを押すと、5倍速で正方向に再生します。

(注2)

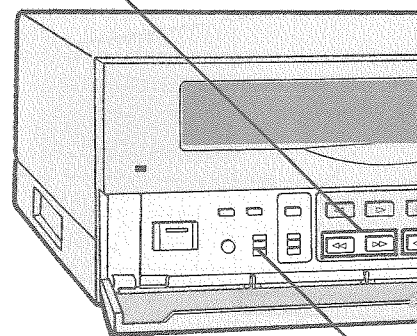
アラームサーチモードを解除する場合、再度、アラームサーチボタンを押して、表示管から“AS”表示を消します。

(注3)

アラームサーチ機能でサーチできるのは、2Hまたは6Hモードで録画されたアラーム録画部分だけです。

# 日付・時刻 合わせ

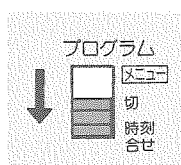
2,4,6,8



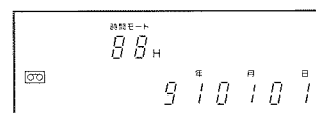
1,10

日付・時刻の設定を行います。

1



“時刻合わせ”  
にする  
(⇒注1,2,3)



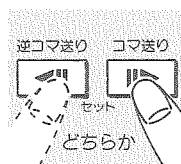
2



押す  
年が点滅する



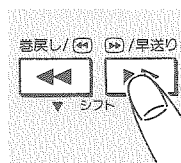
3



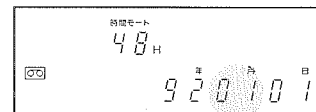
押して、  
数値を設定する



4



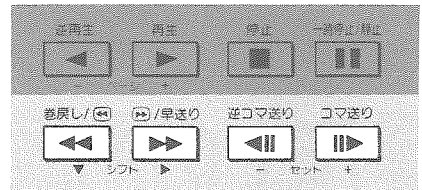
押す



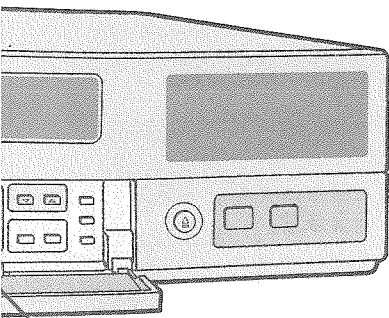
5

3~4の操作を繰り返して、月⇒日の順で設定する。

(時刻・設定操作ボタン)



- シフト (▼) ボタン：項目移動
- シフト (▶) ボタン：項目移動
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)



3.7.9

6



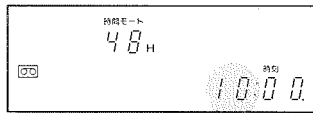
年月日を設定後、  
押す  
(⇒注4)



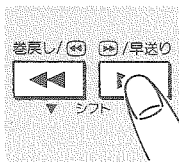
7



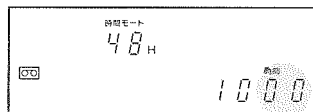
押して、  
時を設定する



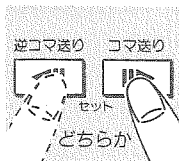
8



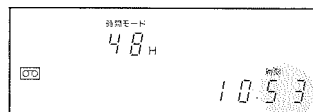
1回押す



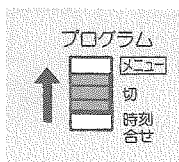
9



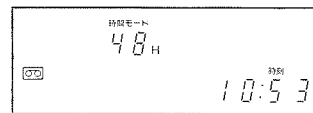
押して、  
分を設定する



10



“切”にする  
(⇒注5)



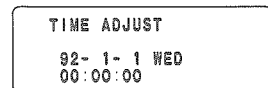
ノート

(注1)

録画時に時刻合わせを行うと、時刻合わせを行っている画面が録画されます。

(注2)

モニタテレビにも同様の画面が表示されます。



(注3)

初期表示は、92年1月1日です。  
最大は07年12月31日です。

(注4)

- ・初期表示は、  
表示管 = 00:00 (時:分)  
モニタテレビ = 00:00:00 (時:分:秒)
- ・最大値は、  
表示管 = 23:59 (時:分)  
モニタテレビ = 23:59:59 (時:分:秒)

(注5)

10の操作を行った瞬間から時刻の歩進が開始されます。  
時報などのタイミングに合わせて、操作すると正確な時刻設定ができます。

(その他)

- ・時間の月差は最大±60秒ずれることがあります。
- ・日付・時刻のデータは、1カ月以内であれば停電補償されます。  
(ただし、40時間以上連続通電の場合)
- ・うるう年は自動的に調整されます。

# 操作上のお願い

## 操作上のお願い

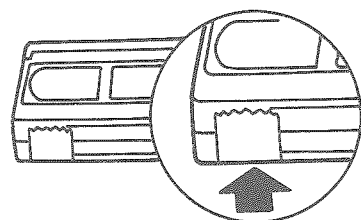
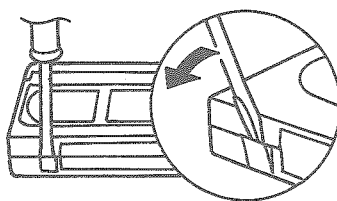
- 2H~L24Hモードでの録画中、一時停止ボタンを押すと、約3秒間逆方向にテープを走行したのち停止状態になります。  
再度押すと、約3秒間テープが走行してから録画が再開されます。
- リニアスローモードでの録画映像は間欠ですが、キャプスタンが低速で連続回転していますので、音声の記録が行えます。
- タイムラプスモードでは、キャプスタンが間欠回転しますので音声の記録はできません。
- メニュー画面2で録画時間モードを“OFF”以外に設定した場合、録画中にサブパネル内の時間モードボタンで時間モードの変更はできません。“OFF”に設定した場合は、録画中でも、時間モードの変更を、サブパネル内の時間モードボタンで変更することができます。
- 停電があった場合、停電が復帰して本機に電源が供給されると、モニタ画面に15秒間、以下のパワーロスメモリ画面が表示されます。  
パワーロスメモリ表示中は、メニュー画面設定や時刻合わせを行うことはできません。

POWER LOSS 05 92-10-31  
17:42

- アラーム録画中は、時間モードボタンは受け付けません。
- 静止画再生中に録画ボタンを押すと、録画一時停止モードになり、モニタにはE-E画が表示されます。
- 同一場所で正逆方向コマ送りを続けると、ノイズがでる場合があります。  
コマ送りを続けて行くとノイズは出なくなります。

## 誤消去防止つめについて

- 大切な録画テープを誤って消去してしまうことをカセットの“つめ”を折ることで、防止できます。
- つめ折れカセットに再度録画する場合は、折り取った部分にセロハンテープを二重にしっかりと貼ります。



矢印の方向に折る



# メニュー画面について

メニュー画面とは	42
メニュー画面 1 (画面表示の設定)	44
メニュー画面 2 (VTRモードの設定1)	46
メニュー画面 3 (VTRモードの設定2)	48
メニュー画面 4 (アラーム録画モードの設定)	50
メニュー画面 5 (1コマ録画モードの設定)	52
メニュー画面 6 (内部タイマ録画モードの設定)	54

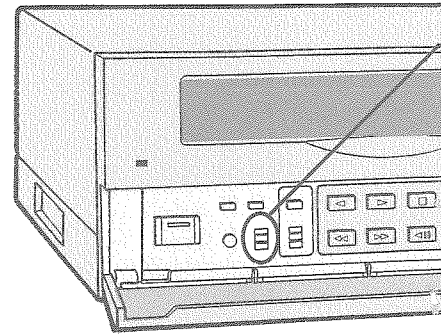
■別売のRS-232C インターフェースアダプタ装着時のみ表示

メニュー画面 7 (RS-232Cパラメータの設定) 56

メニュー画面 8 (タイムコードの設定) 58

メニュー設定上のお願い	60
-------------	----

# メニュー画面 とは



本機の多彩な機能をオンスクリーンで設定することができます。

## ■メニュー画面1 (画面表示の設定)

```

((DISPLAY))
MODE T/D
CHARACTER WHITE
POSITION L-UPPER
TIME SELECT 24HOURS
DATA ON
TIME ON
T-MODE ON
    
```

モニタテレビに表示される情報の設定を行うメニュー画面です。

## ■メニュー画面2 (VTRモードの設定1)

```

((VTR MODE SELECT 1))
(REC T-MODE) OFF
(TAPE IN)
MODE STOP
(TAPE END)
MODE STOP
ALARM IN STOP
(EJECT OPERATION)
MODE EJECT
(AC OUT LET) LINK
    
```

- ・録画時間モードの設定
- ・カセット挿入時動作の設定
- ・テープ終端動作の設定
- ・イジェクト動作の設定
- ・電源出力端子機能の設定

## ■メニュー画面3 (VTRモードの設定2)

```

((VTR MODE SELECT 2))
(POWER LOSS MEMORY)
** **-**-** **-**
(VIDEO)
MODE AUTO
IN LINE
S-VHS REC ON
(TIME ADJUSTING)
SET TIME 9:00
OPERATION SLAVE
    
```

- ・パワーロスメモリの表示
- ・映像信号の選択
- ・時刻合わせ機能の設定

## ■メニュー画面4 (アラーム録画モードの設定)

```

((ALARM/SENSOR REC))
MODE OFF
DURATION 0.5MIN
BUZZER OFF
REPEAT IN OFF
(RESET PULSE)
INPUT LEVEL HIGH
(CAMERA SW)
TIMING 1FIELD
MODE TM2
    
```

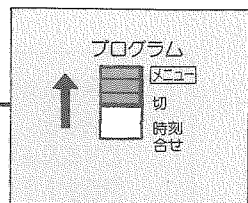
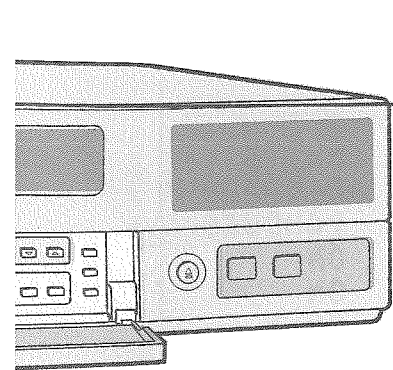
- ・アラーム録画モードの設定
- ・リセットパルスの選択
- ・カメラ切り換え設定

## ■メニュー画面5 (1コマ録画モードの設定)

```

((1-SHOT REC))
FIELD 1
INTERVAL 3MIN
    
```

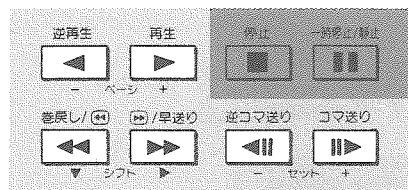
- ・1コマ録画モードの設定



“メニュー”  
にする

- ・前回設定していた画面が表示されます。
- ・始めて設定する場合は、メニュー画面1が表示されます。

### (メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

### ■メニュー画面6 (内部タイマー録画モードの設定)

```
([INTERNAL TIMER REC])
(TIMER) START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
```

- ・デイリータイマーの設定
- ・ウィークリータイマーの設定

別売品のRS-232CインターフェースアダプタAG-IA670を装着すると、以下のメニュー画面も表示されます。(⇒85ページ)

### ■メニュー画面7 (RS-232Cパラメータの設定)

```
([RS-232C PARAMETER])
BIT LENGTH 7BIT
STOP BIT STOP-1
PARITY ODD
BAUD RATE 9600
```

- ・RS-232Cパラメータの設定

### ■メニュー画面8 (タイムコードの設定)

```
([TIME CODE])
MODE REGEN
VITC REC ON
POSITION 11H.13H
TC PRESET 00:00:00
UB PRESET 00 00 00
```

- ・タイムコードの設定

### ノート

- メニュー画面は、VTRが停止またはイジェクト状態のときのみ表示させることができます。
- メニュー画面の操作方法
  - 1) プログラムスイッチを“メニュー”にする
  - 2) +/-ページボタンで希望のメニュー画面を選択します。  
最終ページの次ページは先頭ページ、先頭ページの次ページは最終ページになります。
  - 3) ▼シフトボタンを押すと、一行目が点滅する。
  - 4) ▼▶シフトボタンで設定項目を選択する。
  - 5) +/-セットボタンで設定する。
  - 6) 設定が終了しましたら、プログラムスイッチを“切”に戻します。  
各項目の設定が確定されます。

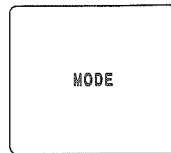
# メニュー 画面1 画面表示の設定

〔〔DISPLAY〕〕	
MODE	T/D
CHARACTER	WHITE
POSITION	L-UPPER
TIME SELECT	24HOURS
DATA	ON
TIME	ON
T-MODE	ON

モニタテレビ上に映し出される表示の設定を行います。

## ■表示モードの選択

1



通常表示される画面を選択します。

T/D : 日付・時刻表示画面

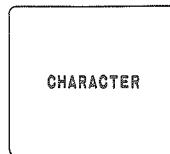
LAP : ラップタイム表示画面

PAGE : ページカウント表示画面 (⇒注1)

(ただし、時間モードが“000H”に設定されているときのみ表示されます。)

## ■表示文字の種類選択

2



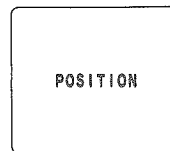
表示文字の種類を選択します。

WHITE : 白文字 =ABCDE

BLACK : ふちどり文字=ABCDEF

## ■表示位置の選択

3



表示位置を選択します

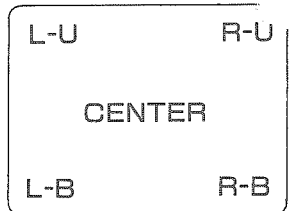
L-UPPER : 左上

R-UPPER : 右上

L-BOTTOM : 左下

R-BOTTOM : 右下

CENTER : 中央



## ■時刻表示モードの選択

4



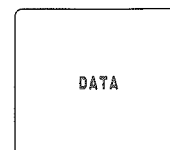
時刻表示を24時間制かAM/PM制に選択します。

24HOURS : 24時間制表示=22:10:45

AM/PM : AM/PM表示=10:10:45P

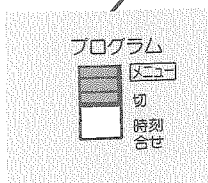
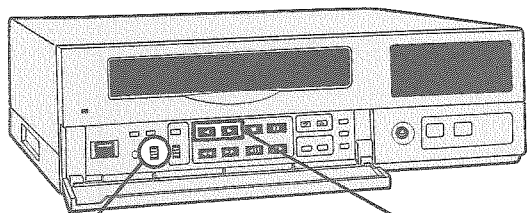
## ■日付表示のON/OFF

5

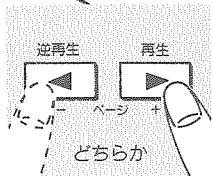


日付の表示をON/OFFします。

[ 画面の出し方 ]

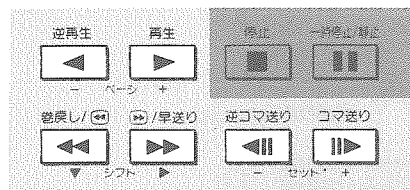


“メニュー”  
にする



希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す

(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

■時刻表示のON/OFF

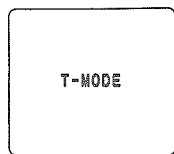
6



時刻の表示をON/OFFします。

■時間モード表示のON/OFF

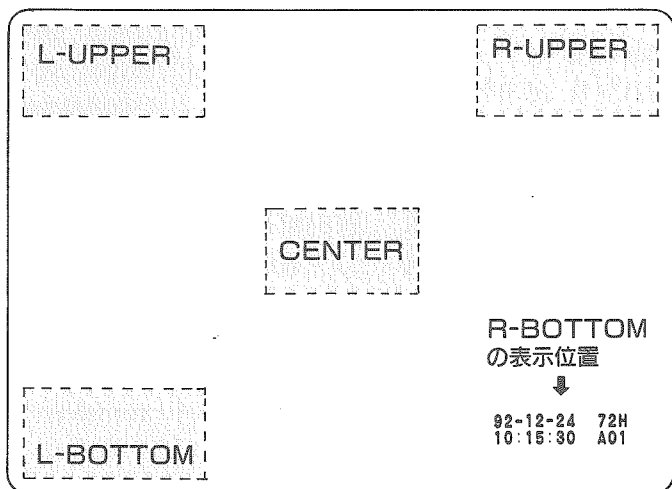
7



時間モードの表示をON/OFFします。

■通常画面

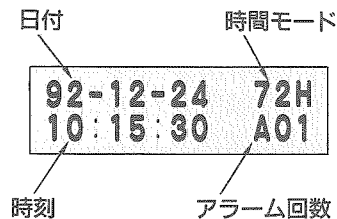
モニタテレビ



ノート

(注1)

日付・時刻表示画面



ラップタイム表示画面

現在の時刻に関係なく、録画を開始した時点からの録画通算時間を秒単位で表示します。(ただし、録画一時停止時はカウントしません。)



リセットボタンを押すと“0:00:00”にリセットすることができます。

ページカウント表示画面

1コマ録画時、1コマ記録することに1ページとしてカウントし、その総ページ(コマ)数を表示します。

(1コマ録画⇒52,64ページ)



リセットボタンを押すと“0”にリセットすることができます。

(その他)

各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。

# メニュー 画面?

## VTRモードの設定1

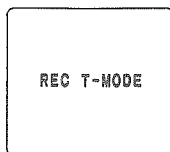
```

([VTR MODE SELECT 1])
[REC T-MODE] OFF
[TAPE IN]
MODE STOP
[TAPE END]
MODE STOP
ALARM IN STOP
[EJECT OPERATION]
MODE EJECT
[AC OUT LET] LINK
    
```

VTRモードの各種設定を行います。

### ■録画時間モードの選択

# 1



録画時間モードを設定します。

録画を開始すると、必ず設定した時間モードになります。(⇒60ページ)

**OFF** : 本機サブパネル部の時間モードボタンで任意に時間モードを設定できます。録画中に変更することもできます。

**2H** : 2時間モード(一般のビデオの標準モードと互換性があります。)

**6H** : 6時間モード(一般のビデオの3倍モードと互換性があります。)

**L12H** : 12時間モード(リニアスロー記録)

**L18H** : 18時間モード(リニアスロー記録)

**L24H** : 24時間モード(リニアスロー記録)

**24H** : 24時間モード(0.2秒間隔の間欠録画)

**48H** : 48時間モード(0.4秒間隔の間欠録画)

**72H** : 72時間モード(0.6秒間隔の間欠録画)

**84H** : 84時間モード(0.7秒間隔の間欠録画)

**120H** : 120時間モード(1.0秒間隔の間欠録画)

**180H** : 180時間モード(1.5秒間隔の間欠録画)

**240H** : 240時間モード(2.0秒間隔の間欠録画)

**480H** : 480時間モード(4.0秒間隔の間欠録画)

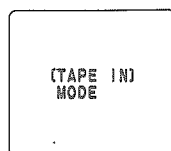
**000H** : 1コマ録画モード(⇒52、62ページ)

(⇒注 1、2)

■間欠録画および1コマ録画モードは音声の記録はできません。

### ■カセット挿入時の動作選択

# 2



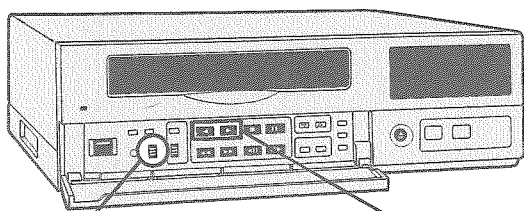
カセットを挿入したときのVTRの動作を選択します。

**STOP** : 停止モード

**REC** : 自動録画モード(⇒注3)

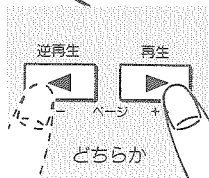
**AUTO** : カセットを入れると、一旦テープ始端まで巻戻してから録画が自動で開始されます。

[ 画面の出し方 ]



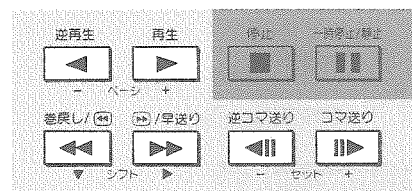
プログラム  
メニュー  
切  
時刻  
合せ

“メニュー”  
にする



希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す

(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

■テープ終端での動作選択

3



- テープ終端でのVTRの動作を選択します。
- STOP : 停止モードになります。
  - BUZZER : 停止し、ブザーが鳴ります。
  - REW : オートリwindモード(⇒注4)
  - REPEAT : リピート録画モード(⇒注5)

■アラーム入力が発生した場合のオートリwind機能の解除設定

4



- 録画中、アラーム入力があった場合、オートリwind機能を解除するかどうかを選択します。
- STOP : オートリwind機能は解除します。  
テープ終端で停止します。
  - CONTINUE : オートリwind機能は解除しません。(3の設定に従う)

■セット取り出し (イジェクト) ボタンの動作選択

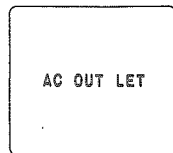
5



- 取り出しボタンを押したときの動作を選択します。
- EJECT : ボタンを押すと、すぐカセットがイジェクトされます。
  - AUTO : ボタンを押すと、一旦テープ始端まで巻き戻しからカセットがイジェクトされます。

■電源出力端子の機能選択

6



- 後面部にある電源出力端子の電源供給を本機の電源スイッチと連動・非連動にします。
- LINK : 本機の電源スイッチに連動します。
  - NON-LINK : 本機の電源スイッチには無関係に常に電源が供給されます。

ノート

(注1)

本機の時間モードは、2時間テープを基本として設定されていますので、使用するカセットによって以下ようになります。(⇒60ページ)

- ・90分テープ：選択した時間の3/4時間
- ・60分テープ：選択した時間の1/2時間
- ・30分テープ：選択した時間の1/4時間

(注2)

リニアスロー録画とは

テープ走行速度をゆっくりにして音声を連続的に録画する方式です。(音声記録が可能)

間欠 (タイムラプス) 録画とは

テープを間欠に送りながら録画を行うことにより、長時間の録画が可能になります。(音声記録は不可能)

(注3)

自動録画モードとは

カセットを挿入するだけで、録画が自動的に開始されます。

(注4)

オートリwind機能とは

テープ終端まで録画すると自動的にテープの始め (テープ始端) まで巻き戻す機能です。

(注5)

オートリピート録画機能とは

テープ終端まで録画すると、自動的にテープ始端まで巻戻し、繰り返し録画を行います。

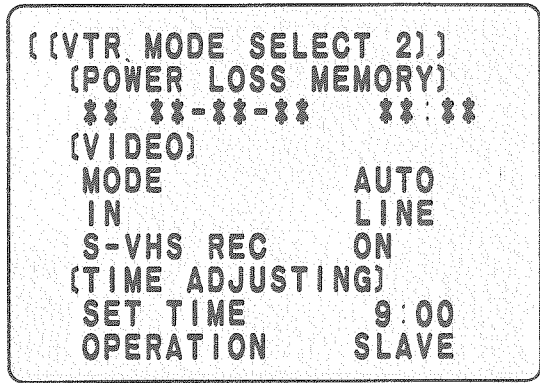
(その他)

各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。

# メニュー

## 画面 3

### VTRモードの設定2

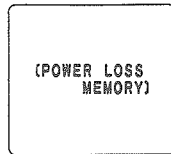


VTRモードの各種設定を行います。

#### ■パワースメモリの表示

(⇒注1)

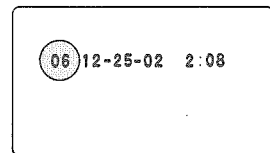
1



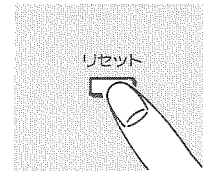
パワースメモリを表示します。

- シフト▼ボタンを押して、番号を点滅させてからセット+ボタンまたは一ボタンを押すと、過去4回までのメモリを順次表示させることができます。

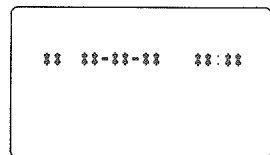
- パワースメモリのデータは以下のようにするとクリアできます。



点滅中に

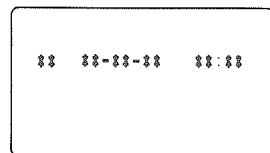


押す



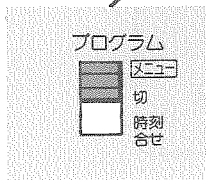
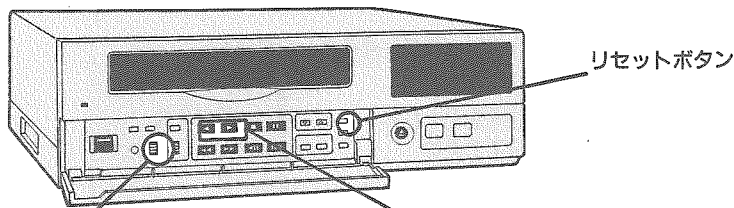
メモリが  
クリアされる

- パワースメモリデータは、日付・時刻合わせができていないとき、データがないときには、以下のように表示されます。

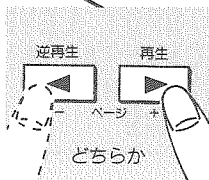




[ 画面の出し方 ]

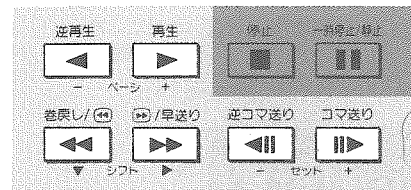


“メニュー”  
にする



希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す

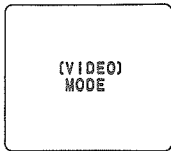
(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

■映像信号モードの選択

2



カラー/白黒自動切り換え回路の働きを選択します。  
**AUTO** : 入力信号に応じて、自動的に回路を切り換えます。(⇒注2)  
**COLOR** : 強制カラーモード  
**B/W** : 強制白黒モード (⇒注3)

■入力映像信号の選択

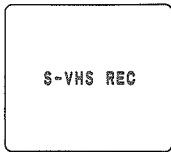
3



入力映像信号を選択します。  
**LINE** : 映像入力端子 (ライン) に入力された信号を入力映像信号とします。  
**S-VIDEO** : S映像端子に入力される信号を入力信号とします。

■S-VHS録画モードの設定

4



S-VHS録画モードの設定を行います。  
**ON** : VHSテープとS-VHSテープの自動判別を行い、それぞれのモードで記録します。  
**OFF** : 使用するカセットに関わらず、常にVHSモードで録画します。再生時は自動判別を行います。

■時刻合わせ機能の時刻設定

5



時刻を設定します。  
 “時” だけの設定になります。  
 “分” は00分のままです。  
 セット+または-ボタンで時刻を設定します。

■時刻合わせ機能の選択 (⇒注4)

6



時刻合わせ機能を選択します。  
**SLAVE** : 外部スイッチまたはマスター機により本機の時刻を合わせます。  
**MASTER** : 本機をマスター機として他のビデオの時刻を合わせます。

ノート

(注1)

パワーロスメモリについて

停電があった場合、99回まで停電回数をカウントし、その回数、日付・時刻を、最新の4回までをメモリします。

(注2)

映像入力に白黒信号とカラー信号を混在させないでください。画面乱れ、ノイズ発生の原因になります。

(注3)

入力信号によっては、自動判別を誤る場合があります。このときは、カラー信号はCOLORに、白黒信号はB/Wにします。(誤動作を防ぐため、入力信号に合わせて設定することをお勧めします。) B/Wの設定時にカラー信号を入力した場合やCOLORの設定時に白黒信号を入力した場合は、不自然な映像が記録されます。

(注4)

SLAVEモードについて

後面ターミナル部の時刻合わせターミナルとアースを短絡させると、5で設定した時刻に本機の時計が合わされます。

また同時に時刻合わせ出カターミナルからパルス(L)が出力されます。

MASTERモードについて

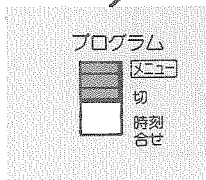
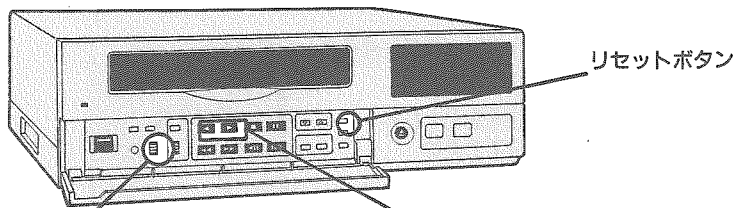
本機の時計が5で設定した時刻になると、時刻合わせ出カターミナルからパルス(L)が出力されます。

(その他)

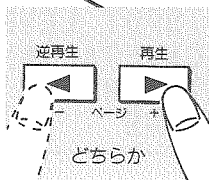
各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。



[ 画面の出し方 ]

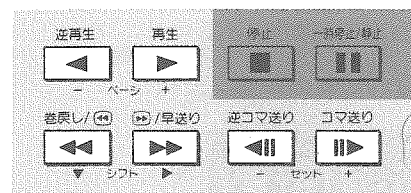


“メニュー”  
にする



希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す

(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

■映像信号モードの選択

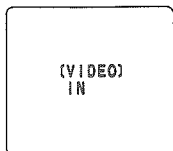
2



カラー/白黒自動切り換え回路の働きを選択します。  
**AUTO** : 入力信号に応じて、自動的に回路を切り換えます。(⇒注2)  
**COLOR** : 強制カラーモード  
**B/W** : 強制白黒モード (⇒注3)

■入力映像信号の選択

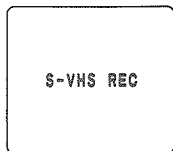
3



入力映像信号を選択します。  
**LINE** : 映像入力端子 (ライン) に入力された信号を入力映像信号とします。  
**S-VIDEO** : S映像端子に入力される信号を入力信号とします。

■S-VHS録画モードの設定

4



S-VHS録画モードの設定を行います。  
**ON** : VHSテープとS-VHSテープの自動判別を行い、それぞれのモードで記録します。  
**OFF** : 使用するカセットに関わらず、常にVHSモードで録画します。再生時は自動判別を行います。

■時刻合わせ機能の時刻設定

5



時刻を設定します。  
 “時” だけの設定になります。  
 “分” は00分のままです。  
 セット+または-ボタンで時刻を設定します。

■時刻合わせ機能の選択 (⇒注4)

6



時刻合わせ機能を選択します。  
**SLAVE** : 外部スイッチまたはマスター機により本機の時刻を合わせます。  
**MASTER** : 本機をマスター機として他のビデオの時刻を合わせます。

ノート

(注1)

パワーロスメモリについて

停電があった場合、99回まで停電回数をカウントし、その回数、日付・時刻を、最新の4回までをメモリします。

(注2)

映像入力に白黒信号とカラー信号を混在させないでください。画面乱れ、ノイズ発生の原因になります。

(注3)

入力信号によっては、自動判別を誤る場合があります。このときは、カラー信号はCOLORに、白黒信号はB/Wにします。(誤動作を防ぐため、入力信号に合わせて設定することをお勧めします。) B/Wの設定時にカラー信号を入力した場合やCOLORの設定時に白黒信号を入力した場合は、不自然な映像が記録されます。

(注4)

SLAVEモードについて

後面ターミナル部の時刻合わせターミナルとアースを短絡させると、5で設定した時刻に本機の時計が合わされます。

また同時に時刻合わせ出カターミナルからパルス(L)が出力されます。

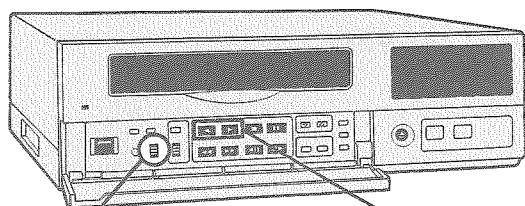
MASTERモードについて

本機の時計が5で設定した時刻になると、時刻合わせ出カターミナルからパルス(L)が出力されます。

(その他)

各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。

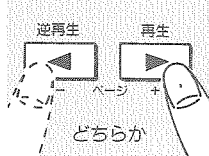
## [ 画面の出し方 ]



プログラム

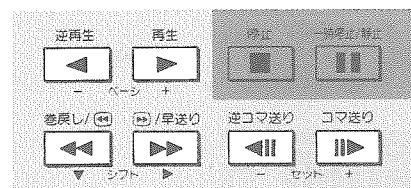


“メニュー”  
にする



希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す

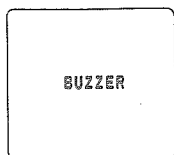
## (メニュー設定操作ボタン)



ページ (-) ボタン：ページダウン  
ページ (+) ボタン：ページアップ  
シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)  
シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)  
セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)  
セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

### ■ブザーのON/OFF

3



アラーム録画時にブザーを鳴らす設定を行います。

OFF：ブザーはなりません。

ON：アラーム録画中ブザーが鳴ります。

- ・ブザーを解除するのに何か操作ボタンを押します。

### ■リピートイン機能の設定

4



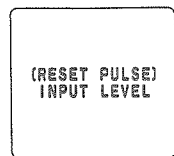
録画時のオートリwind中にアラーム入力があった場合、アラーム録画を行うかどうかの設定を行います。

OFF：アラーム録画を行いません。

ACCEPT：アラーム録画を行います。(⇒注3)

### ■アラームリセットパルスの受け付けレベル選択

5



アラームリセットパルスの受け付けレベルを選択します。

HIGH：ハイレベルになります。

LOW：ローレベルになります。

(⇒78ページ)

### ■カメラ切り換えタイミングの設定

6

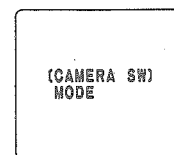


録画時、外部シーケンシャルスイッチャに対して出力するカメラ切り換えタイミングを設定します。

1、2、3、4、5、10、20、30、60フィールドごとに切り換えます。(⇒注1)

### ■カメラ切り換えモードの選択

7



カメラ切り換えをフィールド単位で行うか、フレーム単位で行うかを選択します。(⇒注2)

TM1：フレーム単位で切り換え

TM2：フィールド単位で切り換え

## ノート

### (注1)

7のカメラ切り換えモードの選択で“TM1”を選択した場合、カメラの切り換えはフレーム単位になります。

### (注2)

TM1は、フレームスイッチャWJ-FS10A (別売品)を接続する場合に選択します。(⇒87ページ)  
TM2は、その他のシーケンシャルスイッチャと接続する場合に選択します。

### (注3)

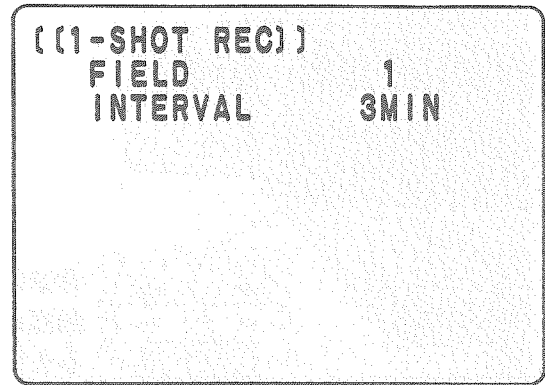
リピートイン機能で“ACCEPT”を選択する場合は、1のアラーム録画モードを必ず“OFF”以外に設定しておいてください。“OFF”のまま“ACCEPT”を選択すると、VTRが誤動作する場合があります。

### (その他)

- 各項目の設定は、プログラムスイッチを切り戻した時点で確定されます。
- アラーム録画間隔の設定を「MANUAL」でご利用の場合には、(TAPE END)MODEを「REW」、「REPEAT」以外に設定してください。

# メニュー 画面 5

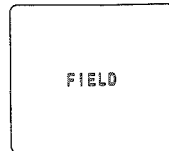
## 1コマ録画モードの設定



アラーム録画モードの設定を行います。

### ■1コマの録画時間の選択

1

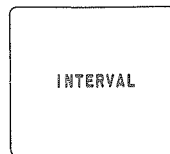


1コマ録画モードの1コマの録画時間をフィールド単位で選択します。

1, 2, 3, 4, 5, 10, 15, 20, 30, 40, 50, 60  
(⇒注1)

### ■1コマ録画のインターバル時間設定

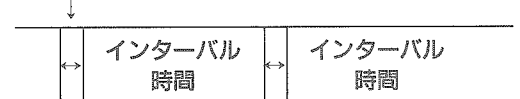
2



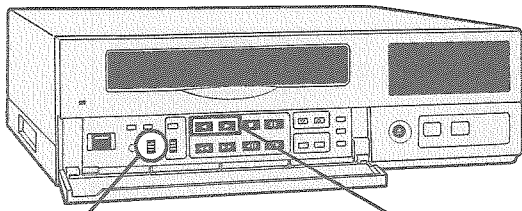
1コマ録画する時間間隔を設定します。

1 : 1分間のインターバル  
2 : 2分間のインターバル  
3 : 3分間のインターバル

録画時間

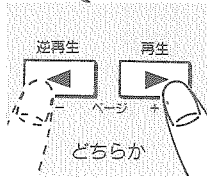


[ 画面の出し方 ]



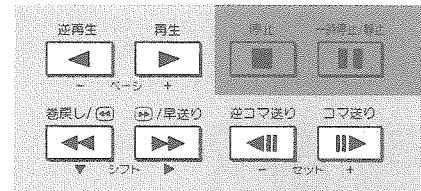
プログラム  
メニュー  
切  
時刻  
合せ

“メニュー”  
にする



希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す

(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

■1コマ録画の記録可能時間は以下のとおりです。  
(120分テープを使用した場合)

1コマの 録画時間	インターバル 時間		
	1分	2分	3分
1フィールド	7,200	14,400	21,600
2フィールド	3,660	7,260	10,860
3フィールド	2,480	4,880	7,280
4フィールド	1,890	3,690	5,490
5フィールド	1,536	2,976	4,416
10フィールド	828	1,548	2,268
15フィールド	592	1,072	1,552
20フィールド	474	834	1,194
30フィールド	356	596	836
40フィールド	297	477	657
50フィールド	261	405	549
60フィールド	238	358	478

単位 (時間)

ノート

(注1)

設定フィールドの1フィールド当たりの録画間隔は1秒です。

(その他)

各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。

# メニュー

## 画面 6

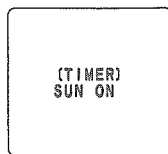
内部タイマー録画  
モードの設定

(( INTERNAL TIMER REC ))			
(TIMER)	START	END	T-M
SUN	OFF		
MON	OFF		
TUE	OFF		
WED	OFF		
THU	OFF		
FRI	OFF		
SAT	OFF		
DLY	OFF		

内部タイマーの設定を行います。

### ■内部タイマーモードのON/OFF

1



内部タイマー設定モードをON/OFFします。

ON : 内部タイマー録画が設定されます。

OFF : 内部タイマー録画が設定されません。

### ■タイマー録画開始時刻の設定

2

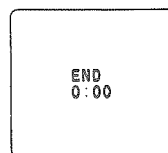


内部タイマー録画の開始時刻を設定します。

シフトボタンで設定項目を選択し、セットボタンで数値を設定します。

### ■タイマー録画終了時刻の設定

3

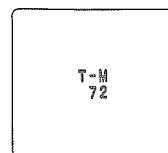


内部タイマー録画の終了時刻を設定します。

シフトボタンで設定項目を選択し、セットボタンで数値を設定します。

### ■録画時間モードの設定

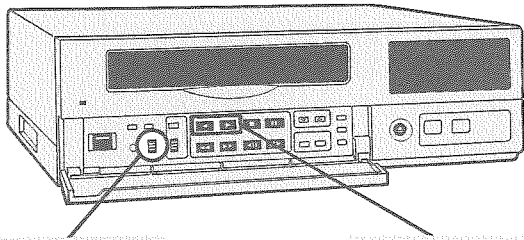
4



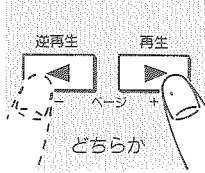
内部タイマー録画する場合の記録時刻モードを設定します。

2H、6H、L12H、L18H、L24H、24H、48H、72H、84H、120H、180H、240H、480H、000H

[ 画面の出し方 ]

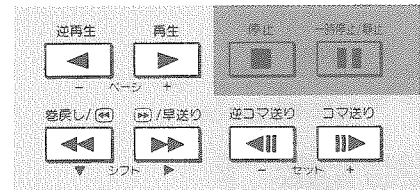


“メニュー”  
にする



希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す

(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

■ウィークリータイマー録画

日曜日から土曜日までのあいだの各曜日ごとに、1日1回内部タイマー録画開始・時刻を設定できます。

各曜日ごとに、内部タイマーのON/OFF、開始・終了時刻の設定、録画モードの設定を行います。

(TIMER)	START	END	T-M
SUN ON	8:00	8:00	72
MON ON	12:00	14:00	72
TUE OFF			
WED OFF			
THU ON	14:00	23:00	72
FRI OFF			
SAT ON	18:00	8:00	48

■デイリータイマー録画

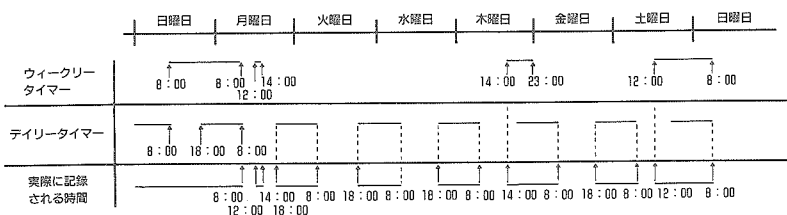
毎日の決まった時刻に内部タイマー録画を、開始・終了させることができます。

DLY ON	18:00	8:00
--------	-------	------

■ウィークリータイマーとデイリータイマーを組み合わせさせた場合

(( INTERNAL TIMER REC ))	(TIMER)	START	END	T-M
SUN ON	8:00	8:00	72	
MON ON	12:00	14:00	72	
TUE OFF				
WED OFF				
THU ON	14:00	23:00	72	
FRI OFF				
SAT ON	12:00	8:00	48	
DLY ON	18:00	8:00	72	

左の画面のように設定された場合はウィークリー、デイリーの各タイマー録画と実際のテープ上に記録される時間は次のようになります。



■重なった部分の録画時間モードは、デイリータイマー録画モードが優先されます。

ノート

- 日付・時刻が設定されていないときは、内部タイマー録画は動作しません。
- 設定時刻の表示 (24時間制かPM/AM制) は、日付・時刻設定で指定したモードに従います。
- 内部タイマー設定は、“ON” で開始・終了時刻を設定したあと “OFF” にすると、設定時刻の表示は、一旦消えますが、再度 “ON” にすると同じ表示がされます。
- ウィークリータイマー録画とデイリータイマー録画を組み合わせ設定した場合、重なった時間帯では、デイリータイマー録画記録時間モードの設定が優先されます。
- 各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。



# メニュー 画面7

## RS-232Cパラメータの 設定

[(RS-232C PARAMETER)]  
BIT LENGTH 7BIT  
STOP BIT STOP-1  
PARITY ODD  
BAUD RATE 9600

### ■キャラクタ長の設定

1



キャラクタ長を設定します。

7BIT : 7ビット

8BIT : 8ビット

(⇒注1)

### ■ストップビットの設定

2



ストップビットを設定します。

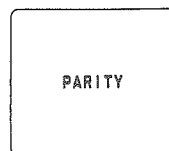
STOP-1 : 1ビット

STOP-2 : 2ビット

(⇒注2)

### ■パリティビットの設定

3



パリティビットを設定します。

ODD : 奇数

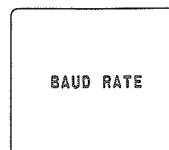
EVEN : 偶数

NONE : なし

(⇒注3)

### ■ボーレートの設定

4



ボーレート (データ信号速度) を設定します。

1200 : 1200ビット/秒

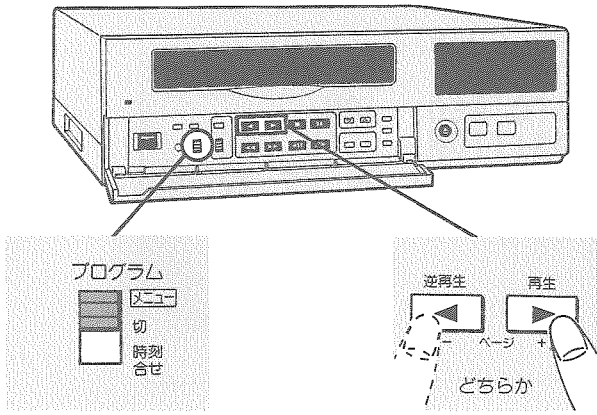
2400 : 2400ビット/秒

4800 : 4800ビット/秒

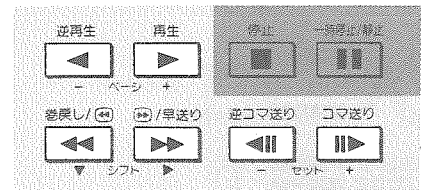
9600 : 9600ビット/秒

(⇒注4)

[ 画面の出し方 ]



(メニュー設定操作ボタン)



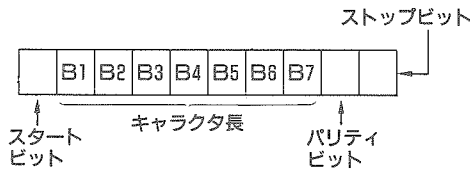
- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

RS-232Cについて

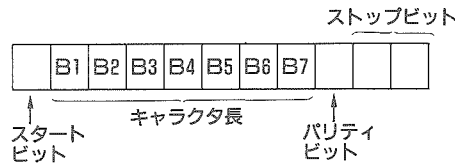
RS-232Cとは、EIA規格の2進直列データ相互交換方式を用いるデータ端末装置と、データ通信装置間のインターフェースの規格番号を示します。このRS-232Cインターフェースを用いて、本VTRをパソコンなどによって制御することができます。

■コード形式

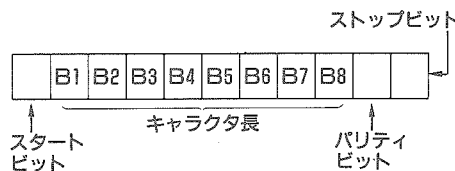
BIT LENGTH : 7BIT  
STOP BIT : STOP-1  
PARITY : EVEN



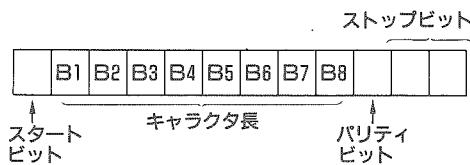
BIT LENGTH : 7BIT  
STOP BIT : STOP-2  
PARITY : ODD



BIT LENGTH : 8BIT  
STOP BIT : STOP-1  
PARITY : EVEN



BIT LENGTH : 8BIT  
STOP BIT : STOP-2  
PARITY : ODD



ノート

(注1)

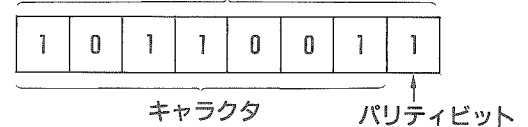
キャラクタ長 (データ長) とは  
キャラクタデータを構成するビット数のこと  
です。

(注2)

ストップビットとは  
各キャラクタごとにデータの始まりを示すスタートビットとデータの終りを示すストップビットが附加されます。  
そのうちスタートビットは、1ビットに固定ですが、ストップビットは1ビットまたは2ビットの選択ができます。

(注3)

パリティビットとは  
伝送誤りをチェックするために附加するビットです。  
データ送信時にパリティビットによって、キャラクタ内の“1”の数を偶数または奇数にし、受信側でそれをチェックします。  
“1”の数が奇数



上記の場合

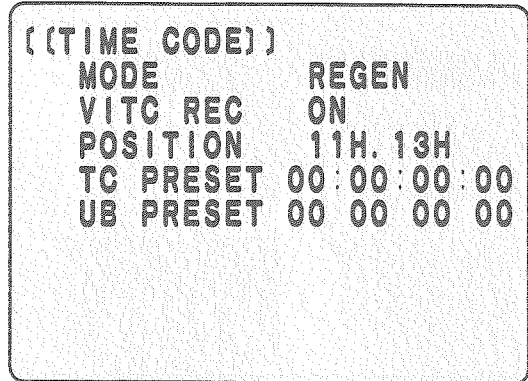
- 偶数パリティチェックのとき不合格
- 奇数パリティチェックのとき合格

(注4)

ボーレート (データ信号速度) とは  
1秒間に送るデータ量のことです。  
例えば、2400ビット/秒では、1秒間に2400ビットのデータを送ります。

# メニュー 画面 8

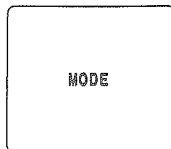
## タイムコードの設定



タイムコードを記録すると、テープの絶対位置を知ることができます。

### ■タイムコードの選択

1



タイムコードモードを選択します。

**REGEN** : リジネモードになります。  
タイムコード値は本機の時計の値になり、ユーザーズビット値には、日付、アラーム回数を書き込まれます。

**P FREE-RUN** : プリセットしたタイムコード値からカウントが始まります。  
録画時、停止時にかかわらず絶えず歩進します。(⇒注1)

**P REC-RUN** : プリセットしたタイムコード値からカウントが始まります。録画時のみ歩進します。(⇒注2)

### ■タイムコード (VITC) 記録のON/OFF

2

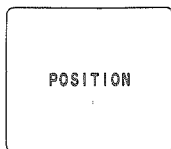


タイムコード (VITC) の記録をON/OFFします。

**ON** : タイムコードを記録します。  
**OFF** : タイムコードの記録は行いません。  
(⇒注3)

### ■タイムコード (VITC) の挿入ラインの設定

3



VITCの挿入ラインを設定します。

**10H~19H** : 隣接しないように二つの挿入ラインを設定してください。  
(⇒注4)

### ■タイムコードのプリセット値 (初期値) 設定

4

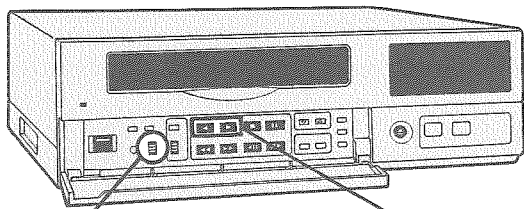


タイムコードの初期値を設定します。

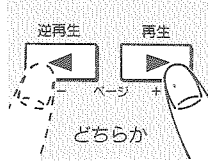
**00:00:00:00** : 時、分、秒、フレームの値を設定します。

・設定範囲は、00:00:00:00~23:59:59:29です。

[ 画面の出し方 ]

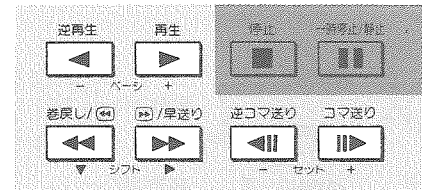


“メニュー”  
にする



希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す

(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

■タイムコードのプリセット値設定

5



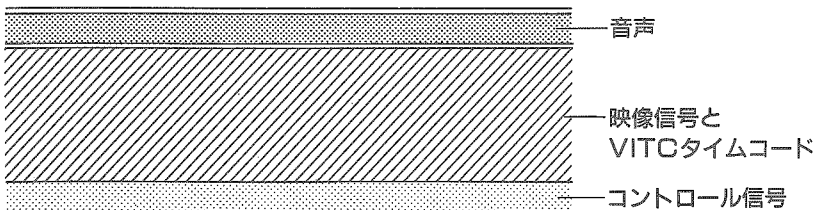
ユーザズビットのプリセット値を設定します。  
00 00 00 00：8文字の数英字を設定します。  
・使用可能文字は0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、  
A、B、C、D、E、Fの16種類です。  
(⇒注5)

■タイムコードについて

00 : 00 : 00 : 00

時：分：秒：フレーム 1秒=約30フレーム

テープ上の記録位置



- 本機のタイムコードは強制ドロップフレームモードで記録されます。  
カラー同期と実時間のずれを補正します。  
0、10、20、30、40、50分を除く各正分の開始から2つのフレーム (00、01)  
をそれぞれスキップします。
- 映像信号が入力されていないとVITCの記録はできません。

ノート

(注1)

フリーランモードとは

タイムコードの歩進 (カウンティング) を常に行うモードです。  
リアルタイムの時間を記録する場合に便利です。

(注2)

レックランモードとは

タイムコードの歩進 (カウンティング) をVTRが録画状態のときだけ行うモードです。テープの絶対位置を正確に知りたいとき便利です。

(注3)

VITCとは

Vertical Interval Time Codeの略です。テープ上の垂直ラインに記録されるタイムコード信号です。  
映像信号と一緒に記録されます。

(注4)

挿入ラインとは

VITCを記録する垂直ラインの位置のことです。2つのラインを選択します。

(注5)

ユーザズビットとは

ユーザーが任意に設定する符号です。  
管理番号、テープのシリアル番号などをテープ上に記録するときに便利です。

# メニュー設定 上のお願い

- メニュー画面は、ビデオが停止状態またはイジェクト状態のときだけ表示されます。  
録画、再生中などでは、メニュー画面は表示されません。
- 録画ロックスイッチが“切”以外に設定されていると、メニュー画面は表示されません。
- 内部タイマー録画は、日付・時刻の設定が完了していないと、動作しません。
- 各メニュー画面で設定した内容は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。
- 時間モードの選び方  
下の表を参考にして、使用目的に合わせて各モードを選んでください。

1秒毎に1カット  
(60カット)

0.2秒毎/1764" ←  
書込数

↓  
1秒毎/607x14"

↓  
0.2 × 60 = 12秒毎に

モード	記録可能時間(時間)			映像記録 間隔 (秒)	音声記録	*カメラ切替間隔(秒)		テープ 走行方式
	120分テープ	90分テープ	60分テープ			TM1	TM2	
2H	2	1.5	1	1/60	可	1/30	**1/30	連続走行
6H	6	4.5	3	1/60	可	1/30	**1/30	連続走行
L12H	12	9	6	0.1	可	0.2	0.1	連続低速
L18H	18	13.5	9	0.15	可	0.3	0.15	連続低速
L24H	24	18	12	0.2	可	0.4	0.2	連続低速
24H	24	18	12	0.2	不可	0.4	0.2	間欠走行
48H	48	36	24	0.4	不可	0.8	0.4	間欠走行
72H	72	54	36	0.6	不可	1.2	0.6	間欠走行
84H	84	63	42	0.7	不可	1.4	0.7	間欠走行
120H	120	90	60	1.0	不可	2.0	1.0	間欠走行
180H	180	135	90	1.5	不可	3.0	1.5	間欠走行
240H	240	180	120	2.0	不可	4.0	2.0	間欠走行
480H	480	360	240	4.0	不可	8.0	4.0	間欠走行
注) 000H	手動	約120	約90	約60	約1.0	—	—	間欠走行
	1分	7,200	5,400	3,600	60	—	—	間欠走行
	2分	14,400	10,800	7,200	120	—	—	間欠走行
	3分	21,600	16,200	10,800	180	—	—	間欠走行

\*メニュー画面4のCAMERA SW TIMINIGをTM1は1FREAM、TM2は1FIELDに設定した場合の数値です。その他のタイミングに設定した場合のカメラ切替間隔は、その設定タイミング値を上表の各モードの数値と掛け算してください。

\*\*1/30について

2H、6Hモードでは1FIELD単位でのカメラ切り換えができないため、1/30秒になっています。

2FIELD以降の掛け算は1/60秒での掛け算を行ってください。

(例えば2FIELDでは1/60×2=1/30秒、3FIELDでは1/60×3=1/20秒になります。)

注) 000H (1コマ録画)の各数値は、メニュー画面5の1コマの録画時間を1フィールドに設定した場合の数値です。

●使用するカセットテープによって異なりますが、上表の記録可能時間より実際に記録できる時間は少し長めになります。

例えば、24Hモードの場合、120分テープで26時間程度の記録が行えます。

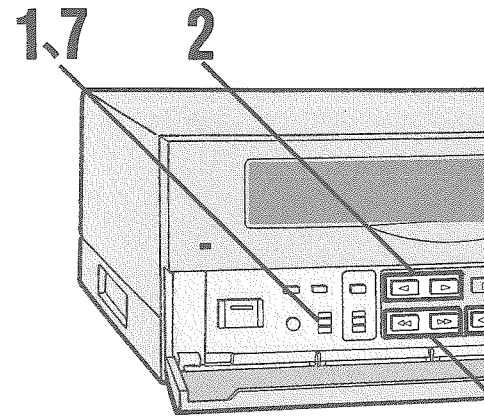
# こんな機能 もあります

---

応用的な操作

シリーズ録画	62
1コマ録画	64
自動時刻合わせ	68
その他の機能	70

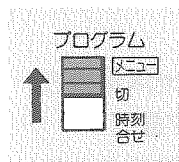
# シリーズ録画



複数のタイムラプスビデオを使用して、連続的に録画を行う操作です。

このページの説明は、シリーズ録画の代表的な設定例です。

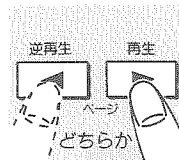
1



“メニュー”にする

```
([DISPLAY])
MODE                T/D
CHARACTER           WHITE
POSITION            L-UPPER
TIME SELECT         24HOURS
DATA                ON
TIME                ON
T-MODE              ON
```

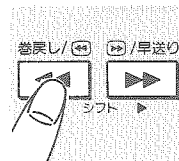
2



押して  
メニュー画面2を  
表示させる

```
([VTR MODE SELECT 1])
(REC T-MODE) OFF
(TAPE IN)
MODE                STOP
(TAPE END)
MODE                STOP
ALARM IN            STOP
(EJECT OPERATION)
MODE                EJECT
(AC OUT LET) LINK
```

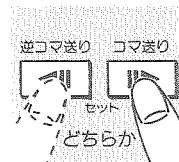
3



押して  
“TAPE END  
MODE”を  
選択する

```
([VTR MODE SELECT 1])
(REC T-MODE) OFF
(TAPE IN)
MODE                STOP
(TAPE END)
MODE                STOP
ALARM IN            STOP
(EJECT OPERATION)
MODE                EJECT
(AC OUT LET) LINK
```

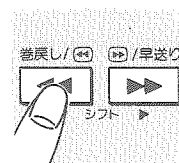
4



押して  
“REW”にする  
(⇒注1)

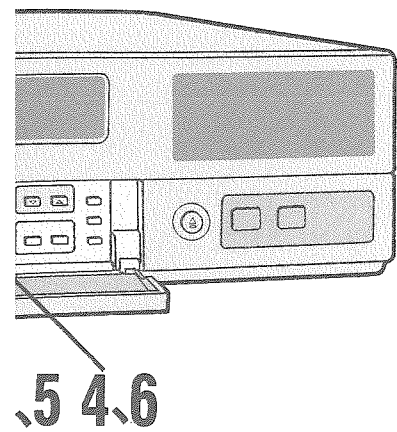
```
([VTR MODE SELECT 1])
(REC T-MODE) OFF
(TAPE IN)
MODE                STOP
(TAPE END)
MODE                REW
ALARM IN            STOP
(EJECT OPERATION)
MODE                EJECT
(AC OUT LET) LINK
```

5

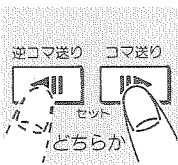


押して  
“TAPE END  
ALARM IN”  
を選択する

```
([VTR MODE SELECT 1])
(REC T-MODE) OFF
(TAPE IN)
MODE                STOP
(TAPE END)
MODE                REW
ALARM IN            STOP
(EJECT OPERATION)
MODE                EJECT
(AC OUT LET) LINK
```



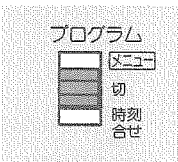
6



押して  
“CONTINUE”  
にする  
(→注2)

```
(VTR MODE SELECT 1)
(REG T-MODE) OFF
(TAPE IN)
MODE STOP
(TAPE END)
MODE REW
ALARM IN CONTINUE
(EJECT OPERATION)
MODE EJECT
(CG OUT LET) LINK
```

7



“切”にする

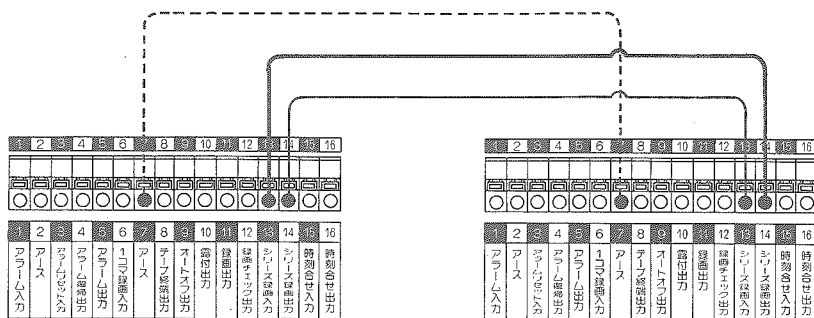
通常画面

■2台以上でシリーズ録画する場合

1台目がテープ終端を検知すると、2台目が録画を開始します。

■2台で交互録画する場合

1台目がテープ終端を検知すると、2台目が録画を開始します。  
2台目がテープ終端を検知すると、再び1台目が録画を開始します。



ノート

(注1)

TAPE END-MODEの設定でテープを巻戻す必要のない場合は“STOP”に設定してください。

(注2)

TAPE END-ALARM INの設定でアラーム録画後、オートリワインド機能を解除したい場合は、“STOP”にしてください。

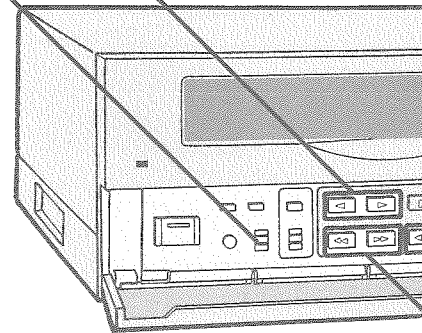
(その他)

- 設定後は、1台目のビデオに通常の録画操作をしてください。
- 2台目以降のビデオの電源は、“入”の状態にしておいてください。
- 誤操作を防止するために、録画ロックスイッチを“1”または“2”に設定することをお勧めします。



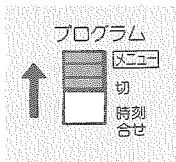
# 1コマ録画

1.10 2.5



データファイル、アニメーションなどの用途に  
1コマ録画の操作です。

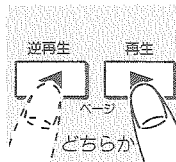
1



“メニュー”にする

((DISPLAY))	
MODE	T/D
CHARACTER	WHITE
POSITION	L-UPPER
TIME SELECT	24HOURS
DATA	ON
TIME	ON
T-MODE	ON

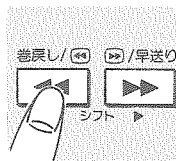
2



押して  
メニュー画面2を  
表示させる

((VTR MODE SELECT 1))	
(REC T-MODE)	OFF
(TAPE IN)	
MODE	STOP
(TAPE END)	
MODE	STOP
ALARM IN	STOP
(EJECT OPERATION)	
MODE	EJECT
(AC OUT LET)	LINK

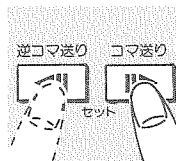
3



押して  
“REC T-MODE”  
を選択する

((VTR MODE SELECT 1))	
(REC T-MODE)	OFF
(TAPE IN)	
MODE	STOP
(TAPE END)	
MODE	STOP
ALARM IN	STOP
(EJECT OPERATION)	
MODE	EJECT
(AC OUT LET)	LINK

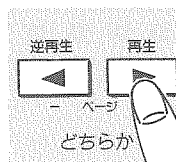
4



押して  
“OFF”または  
“000H”にする  
(⇒注1)

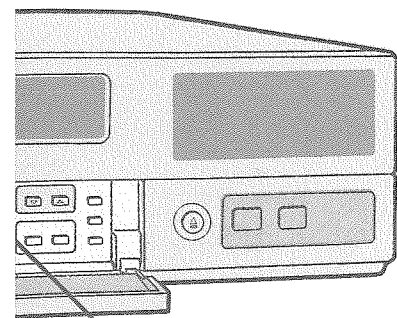
((VTR MODE SELECT 1))	
(REC T-MODE)	000H
(TAPE IN)	
MODE	STOP
(TAPE END)	
MODE	STOP
ALARM IN	STOP
(EJECT OPERATION)	
MODE	EJECT
(AC OUT LET)	LINK

5



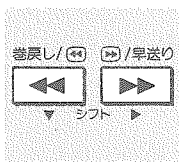
押して  
メニュー画面5を  
表示させる

((1-SHOT REC))	
FIELD	1
INTERVAL	3MIN

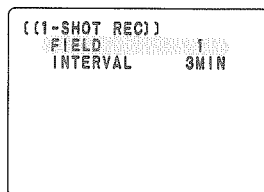


6.6.8 4.7.9

6



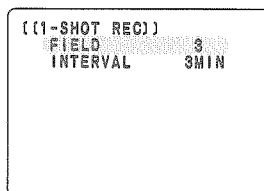
押して  
“FIELD”を  
選択する



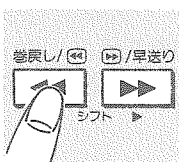
7



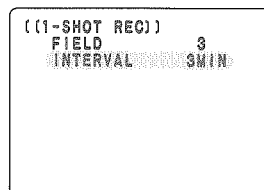
押して  
1コマ録画時間を  
設定する  
(⇒注2)



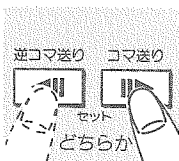
8



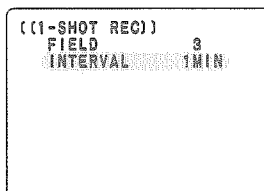
押して  
“INTERVAL”を  
選択する



9



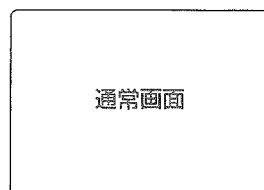
押して  
インターバル時間を  
設定する  
(⇒注3)



10



“切”にする



↓ (操作続く)

## ノート

(注1)

メニュー画面2の“REC T-MODE”が“OFF”になっている場合、前面サブパネル部の時間モードボタンを押しても、“000H”に設定します。REC T-MODEが“000H”になっていると録画時は、常に1コマ録画になります。

(注2)

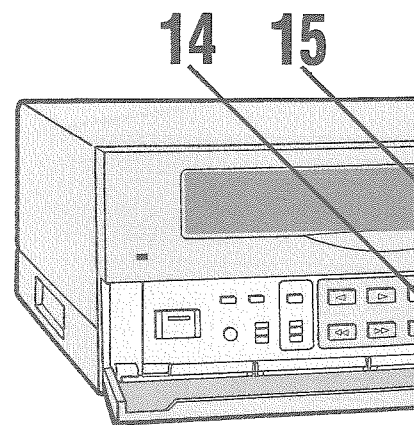
1コマ録画時間は、セットボタンを押すごとに、1→2→3→4→5→10→15→20→30→40→50→60→1→2→…と変わります。(単位はフィールドです。)

(注3)

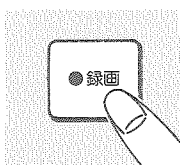
インターバル時間は、セットボタンを押すごとに、1→2→3→1→…と変わります。(単位は分です。)

# 1コマ録画

つづき



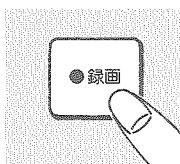
11



押すと  
数コマ録画し、  
録画待機中になる



12



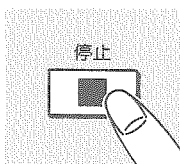
再度押すと  
1コマ録画して  
録画待機中になる



13

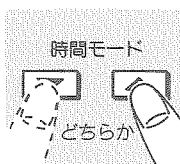
- 以降録画ボタンを押すごとに、1コマ録画する
- 録画ボタンを押さない場合は、インターバル時間が経過すると自動的に、1コマ録画します。

14

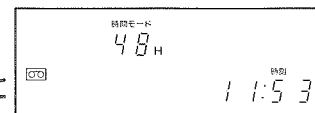


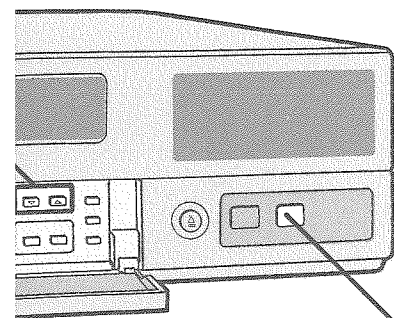
停止する場合  
押す

15



モードを解除する  
場合“000H”以外に  
する  
(⇒注1)





11,12

■リモートスイッチを使用して1コマ録画する場合

前面の録画ボタンを押して、1コマ録画する以外に、リモートスイッチを接続して、離れた場所で1コマ録画することができます。

- リモートスイッチについては、販売店にご相談ください。
- リモートスイッチの入時間は100ms以上必要です。
- リモートスイッチを入れる間隔は約1秒以上必要です。  
(信号レベルについては78ページを参照ください。)

ノート

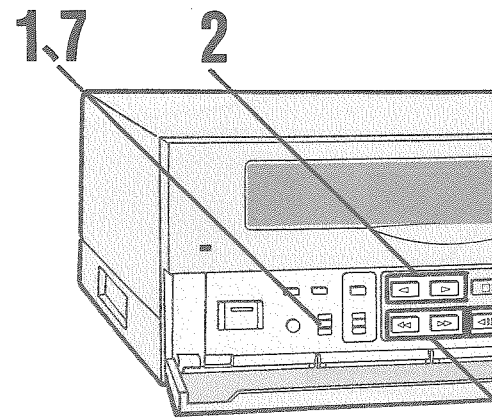
(注1)

メニュー画面2のREC T-MODEを“000H”に設定している場合は、メニュー画面2に移ってREC T-MODEを“000H”以外に設定します。

(その他)

1コマ録画で記録可能な時間については、53ページを参照ください。

# 自動時刻 合わせ



外部スイッチなどにより本機の時刻を任意に設定した時刻に合わせることができます。

また、本機をマスター機として他のタイムラプスの時刻を合わせることができます。(パナソニックタイムラプスビデオで時刻合わせ入カターミナルが装備されているものに限ります。)

- 1

プログラム  
↑  
メニュー  
切  
時刻  
合せ

“メニュー”にする

([DISPLAY])  
MODE T/D  
CHARACTER WHITE  
POSITION L-UPPER  
TIME SELECT 24HOURS  
DATA ON  
TIME ON  
T-MODE ON

---

- 2

逆再生 再生  
ページ  
どちらか

押して  
メニュー画面3を  
表示させる

([VTR MODE SELECT 2])  
(POWER LOSS MEMORY)  
## ##-##-## ##:##  
(VIDEO)  
MODE AUTO  
IN LINE  
S-VHS REC ON  
(TIME ADJUSTING)  
SET TIME 9:00  
OPERATION SLAVE

---

- 3

巻戻し/シフト 早送り  
シフト

押して  
“TIME  
ADJUST-SET  
TIME”選択する

([VTR MODE SELECT 2])  
(POWER LOSS MEMORY)  
## ##-##-## ##:##  
(VIDEO)  
MODE AUTO  
IN LINE  
S-VHS REC ON  
(TIME ADJUSTING)  
SET TIME 9:00  
OPERATION SLAVE

---

- 4

逆コマ送り コマ送り  
セット  
どちらか

押して  
合わせる時刻を  
設定する

([VTR MODE SELECT 2])  
(POWER LOSS MEMORY)  
## ##-##-## ##:##  
(VIDEO)  
MODE AUTO  
IN LINE  
S-VHS REC ON  
(TIME ADJUSTING)  
SET TIME 11:00  
OPERATION SLAVE

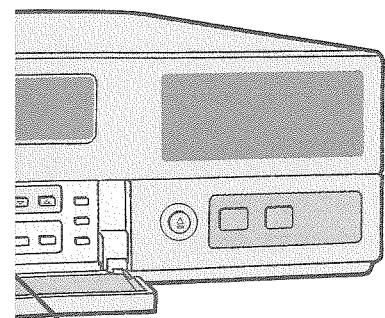
---

- 5

巻戻し/シフト 早送り  
シフト

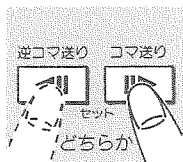
押して  
“TIME ADJUST-  
OPERATION”  
を選択する

([VTR MODE SELECT 2])  
(POWER LOSS MEMORY)  
## ##-##-## ##:##  
(VIDEO)  
MODE AUTO  
IN LINE  
S-VHS REC ON  
(TIME ADJUSTING)  
SET TIME 11:00  
OPERATION SLAVE



5 4.6

6

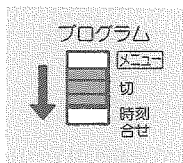


押して  
時刻合わせモード  
を選択する  
(⇒注1)

```

(VTR MODE SELECT 2)
(POWER LOSS MEMORY)
** ** - ** - ** ** : **
(VIDEO)
MODE          AUTO
IN            LINE
S-VHS REC    ON
(TIME ADJUSTING)
SET TIME     11:00
OPERATION    MASTER
  
```

7



“切”にする

通常画面

## ノート

(注1)

### ■SLAVEを選択した場合

後面ターミナル部の時刻合わせターミナルとアースを短絡させると、4で設定した時刻に本機の時計が合わされます。

また同時に時刻合わせ出力ターミナルからパルス(L)が出力されます。

### ■MASTERを選択した場合

本機の時計が4で設定した時刻になると、時刻合わせ出力ターミナルからパルス(L)が出力されます。

# その他の機能

## 停電復帰録画

録画中に停電があった場合、1ヶ月以内に停電が復帰されれば、本機は自動的に録画モードになります。

- 停電直後、本機は、ビデオヘッド、テープを保護するため、テープ保護モードになります。
- 停電時の本機の状態によって、停電復帰後の状態は、録画モードによって以下のようになります。

モード \ 状態	録画	再生、停止 早送り、巻戻し	オートリピート録画時の オートリワインド中
アラーム	録画	停止	テープ始端まで巻戻してから録画
内部タイマー	タイマー設定に従って録画		
外部タイマー	録画	録画	テープ始端まで巻戻してから録画

- 1ヶ月以上の停電の場合、停電復帰後、テープが挿入されていると強制的に72Hモードで録画が開始されます。

## 自動録画チェック機能

停止状態から録画を開始したとき、録画チェックを自動的に行う機能です。最初に録画を数秒間行い、その内容を自動的に録画チェックします。

録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化により適正なビデオレベルが得られなかった場合、表示管のカセットマーク (C) が点滅し、同時に自動ヘッドクリーニングを3回繰り返します。

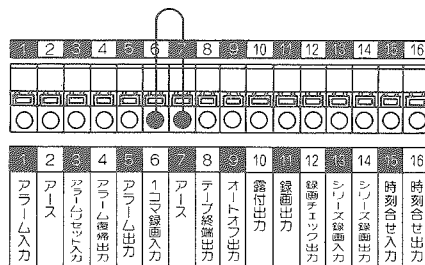
その後再度、数秒間録画を行い、その内容を録画チェックします。

チェック結果が良好の場合は、カセットマークの点滅は消え録画が開始されます。

チェック結果が不良の場合は、カセットマークの点滅はそのまま録画が開始されます。(⇒81ページ)

### 機能設定方法

1コマ録画入力ターミナルとアースを短絡させておきます。



- 自動録画チェック機能が働いている間は、録画チェックボタンを押さないでください。VTRが誤動作する場合があります。
- 自動録画チェック機能を設定する場合は、1コマ録画は操作しないでください。

# 接続について

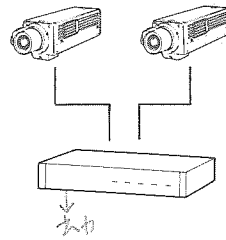
---

機器の接続.....	72
ターミナルの接続.....	74
ターミナルの信号レベル.....	78



# 機器の接続

## 映像入力端子 (BNC)



シーケンシャルスイッチャなどからの外部映像入力信号を接続します。

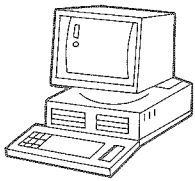
- この端子を使用する場合は、メニュー画面3のVIDEO INを“LINE”に設定します。

●映像入力端子に白黒映像とカラー映像を混在させて入力しないでください。画面の乱れ、ノイズの発生原因になります。

## 信号アース端子

●ノイズ軽減のため接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。

## RS-232C端子 (別売品)



パーソナルコンピュータ

パーソナルコンピュータなどを接続して、本機を制御する場合に使用します。  
(⇒87ページ)

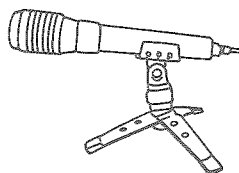
## リモコン (シリアル) 端子 (M3)



AG-A67 (別売)

別売のリモートコントローラAG-A67を接続する端子です。  
(⇒86ページ)

## マイク入力端子 (M9)



マイク

マイクからの音声入力信号を接続します。(600Ωインピーダンス)

●M6端子のマイクを接続する場合は、別売品のコネクタ変換プラグRP-PA70A (オーディオ・ビデオ本部AVアクセサリ部扱い)をご使用ください。

ターミナル部 (74ページ参照)

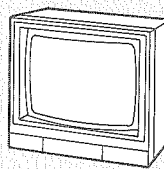
### S映像入出力端子 (4P)

S映像入力：S映像出力端子を持った機器と接続する  
場合に使用します。

S映像出力：S映像入力端子を持った機器と接続する  
場合に使用します。

- これらの端子を使用する場合は、メニュー画面3の  
VIDEO INを“S-VIDEO”に設定します。

### 映像出力端子 (BNC)



モニタテレビ

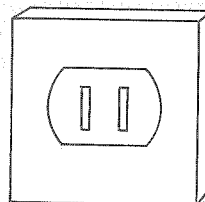
映像信号を出力します。  
●モニタテレビによっ  
ては、ノイズが発生する  
場合もあります。

### 電源出力端子

AC100V最大250Wの電源を供給します。

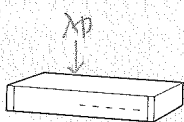
- 本機の電源スイッチと連動させるか、非連動にするかをメニュー画面2で選択できます。  
(⇒47ページ)

### 電源入力端子



付属の電源コードを接続し、家庭用AC100V電源コンセントと接続します。

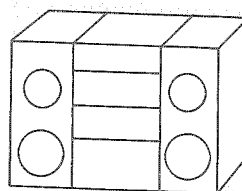
### カメラ切り換え出力端子



シーケンシャル  
スイッチャなど

シーケンシャルスイッチャなどのカメラ切り換えタイミ  
ングを変える信号を出力します。

### 音声入出力端子 (ピンジャック)



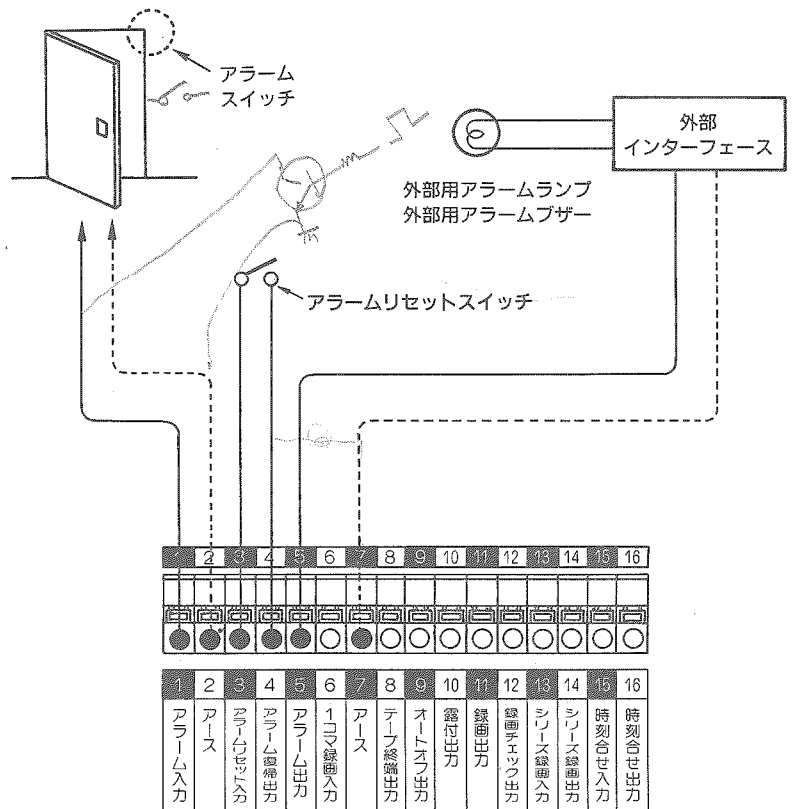
オーディオ機器

音声を入出力する端子です。

- 音声入力端子とマイク端子を同時に使用した場合は、マイク端子の音声が優先的に記録されます。

# ターミナルの接続

## アラーム録画の接続



- メニュー画面4でアラーム録画の設定がされている場合、アラームスイッチが入になると、アラーム録画が開始されます。
- アラームリセットスイッチが入になると、アラーム録画が解除されます。

## コードの接続について

ターミナル部へ接続するコードは、下図のように先端部分をしっかりとよじっておいてください。

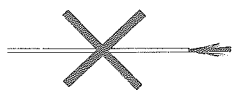
しっかりよじるか、ハンダ付けをする



コードを抜き差しするときはこの部分をマイナスインドライバーなどで押す

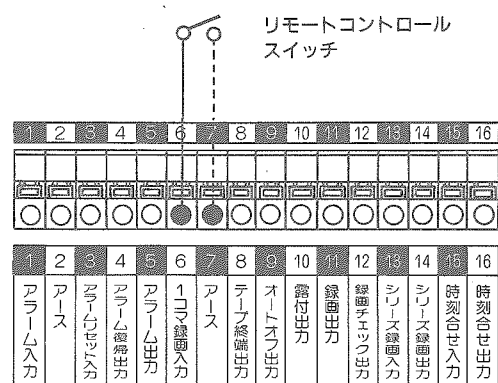


単線：φ0.4~φ1.2  
より線：0.3mm~1.25mm  
(素線の径はφ0.18以上のこと)



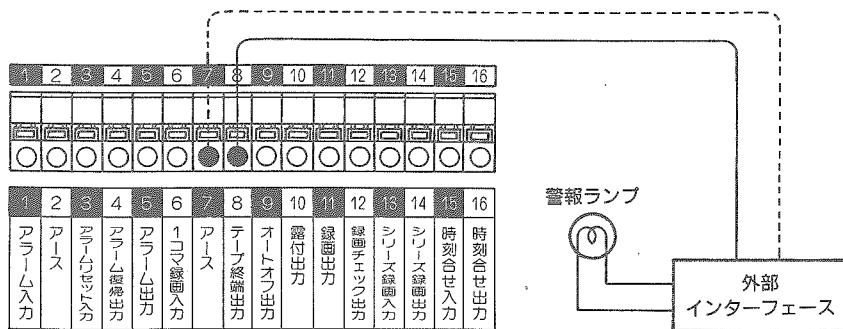
- 先がしっかりよじれていないと、ショートの原因になります。

## 1コマ録画の接続



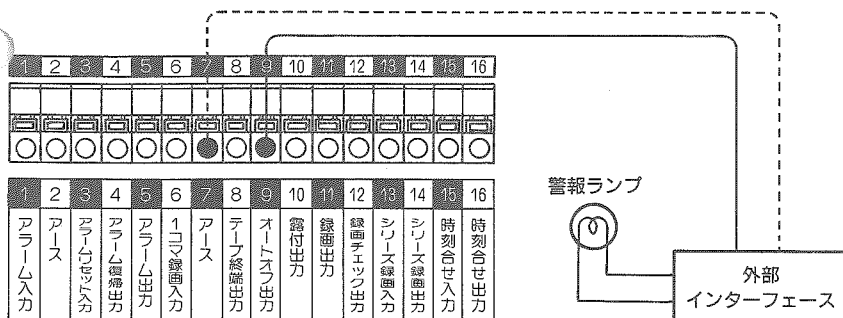
- 1コマ録画モードの準備ができているときに、リモートスイッチが入になると、1コマ録画されます。
- リモートスイッチの入時間は、100ms以上必要です。
- リモートスイッチの入の間隔は、1秒以上必要です。

## テープ終端出力の接続



録画中に、カセットテープが終端になると、外部に設けた警報装置を作動させます。

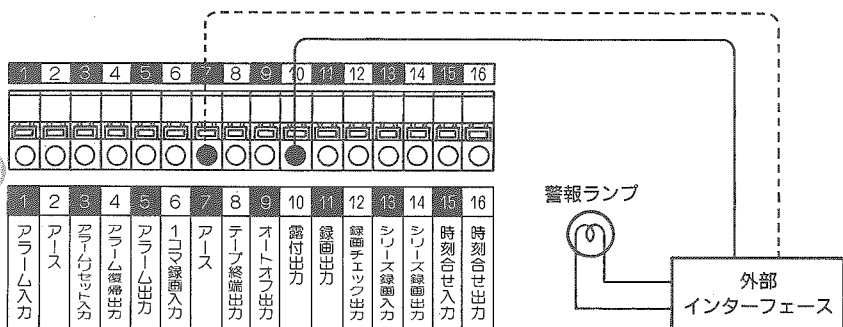
## オートオフ出力の接続



本機に異常が生じたとき、外部に設けた警報装置を作動させます。

この場合、ディスプレイにエラーコードが表示されます。(⇒81ページ)

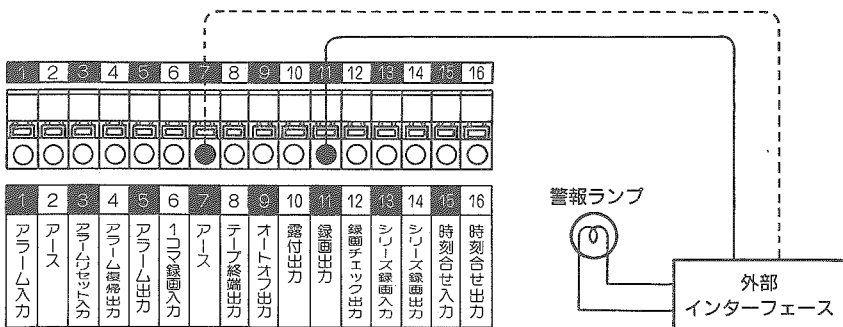
## 露付出力の接続



本機内部に露付きが発生すると外部に設けた警報装置を作動させます。

この場合、ディスプレイに“d”が表示されます。(⇒80ページ)

## 録画出力の接続

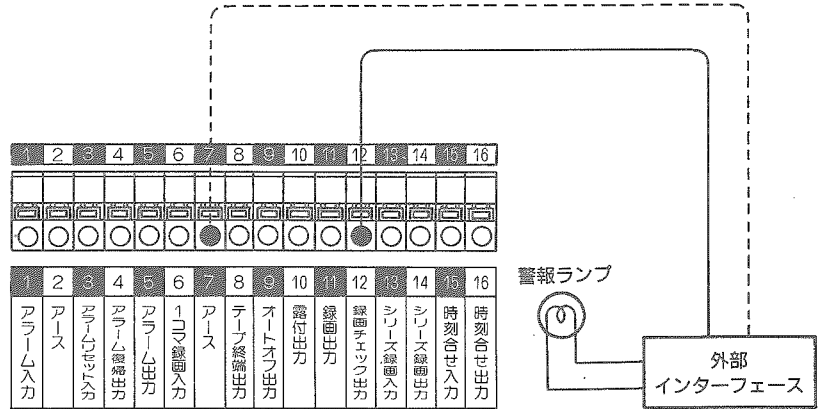



本機が、録画状態になると、外部に設けた警報装置を作動させます。

# ターミナルの 接続

つづき

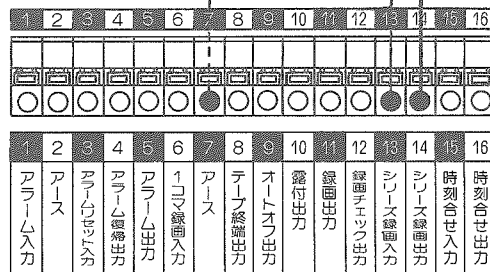
## 録画チェックの接続



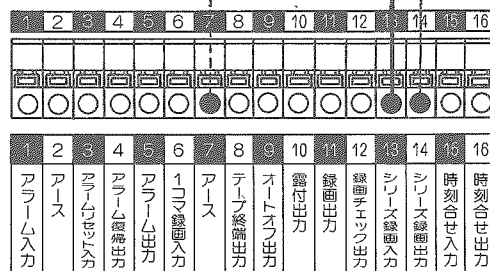
- 録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化により適正なビデオレベルが得られなかった場合に、外部装置を作動させます。同時に表示管のカセットマーク (  ) が点滅します。(⇒81ページ)

## シリーズ録画の接続

### ■1台目のビデオ



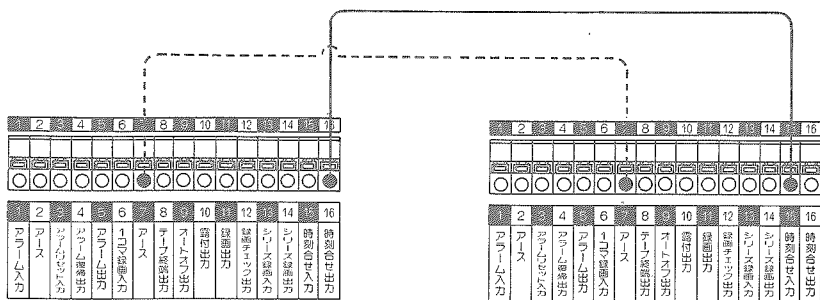
### ■2台目のビデオ



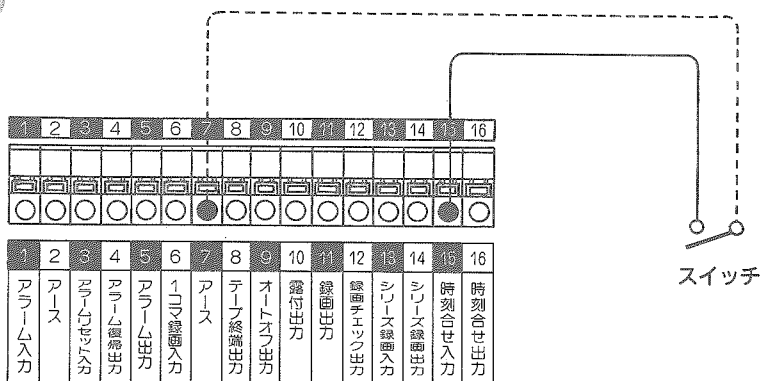
- 1台目がテープ終端になると、2台目の録画が開始されます。
- 2台目がテープ終端になると、再び1台目の録画が開始されます。
- 2台目以上接続する場合は、2台目のシリーズ録画出力は3台目のシリーズ録画入力に接続します。

# 時刻合わせの接続

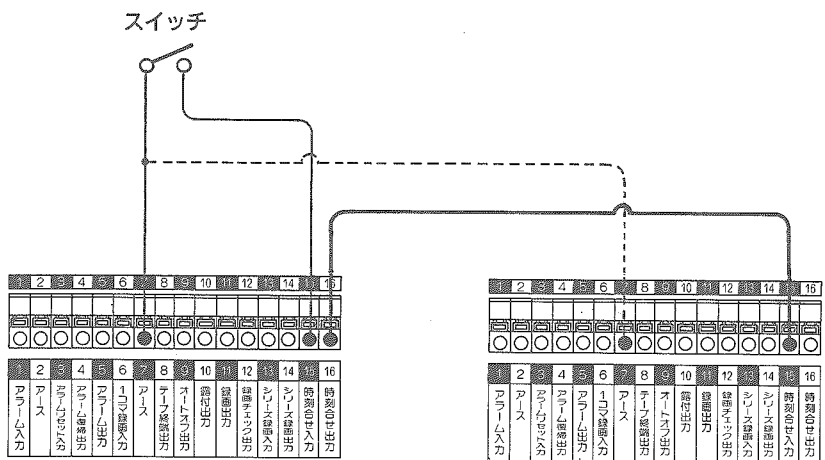
## ■本機により他のタイムラプスビデオの時刻を合わせる場合



## ■外部スイッチにより本機の時刻を合わせる場合



## ■外部スイッチにより複数のタイムラプスビデオの時刻を合わせる場合



- 本機に接続する他のタイムラプスビデオは、当社のタイムラプスビデオで時刻合わせターミナルを装備している機種に限ります。  
(本機は、時刻を任意に設定することができますが、AG-6750/6750Aは、AM9:00に固定されていますのでご注意ください。)

- 本機のメニュー画面3の“TIME ADJUST OPERATION”を“MASTER”に設定します。

- 本機の時刻がメニュー画面3の“TIME ADJUST SET TIME”で設定した時刻になると、時刻合わせ出力ターミナルからパルスが出力され、本機に接続されている他のビデオの時刻を合わせます。

- 本機のメニュー画面3の“TIME ADJUST OPERATION”を“SLAVE”に設定します。

- 外部スイッチを“入”にすると、メニュー画面3の“TIME ADJUST SET TIME”で設定した時刻になります。

- 本機のメニュー画面3の“TIME ADJUST OPERATION”を“SLAVE”に設定します。

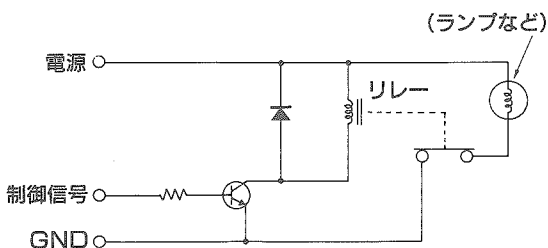
- 外部スイッチによって、アースと時刻合わせ入力端子を短絡させると、本機の時刻がメニュー画面3の“TIME ADJUST SET TIME”で設定した時刻になり、同時に時刻合わせ出力ターミナルからパルスが出力され、本機に接続されている他のビデオの時刻を合わせます。

# ターミナルの 信号レベル

ターミナル名	信号レベル		備考
アラーム 入力 <i>4.1V以下</i>		$V_{IL}=0\sim 0.6V$ $T\geq 100mS$ <i>通常H/L付になる</i>	接地入力 <i>SWの動作</i>
アラーム リセット入力		$V_{IH}=4\sim 5V$	HIGH/LOW (H)と(L)は メニュー画面 4で選択可能 (⇒47ページ)
		$V_{IL}=0\sim 0.6V$ $T\geq 100mS$	
アラーム 復帰出力		$V_{OH}=5\pm 0.5V(200\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max. 3mA)$	HIGH出力
アラーム出力		$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max. 3mA)$	HIGH出力
1コマ録画 入力		$V_{IL}=0\sim 0.6V$ $T\geq 100mS$	接地入力
テープ終端 出力		$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max. 3mA)$ $T=約2s$	接地出力
オートオフ 出力		$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max. 3mA)$	接地出力
露付出力		$V_{OH}=4\sim 5.5V(10K\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max. 3mA)$	接地出力
録画出力		$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max. 3mA)$	HIGH出力
録画チェック 出力		$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max. 3mA)$ リセット時はOK	接地出力
シリーズ録画 入力		$V_{IL}=0\sim 0.6V$ $T\geq 100mS$	接地入力
シリーズ録画 出力		$V_{OL}=0\sim 0.6V$ $T\geq 約700mS$	接地出力
時刻合わせ 入力		$V_{IL}=0\sim 0.6V$ $T\geq 100mS$	接地入力
時刻合わせ 出力		$V_{OL}=0\sim 0.6V$ $T=約1s$	接地出力

## 外部インターフェース作成仕様

HIGH信号にてランプ点灯例



●各素子は、使用実体に合った定格のものをご使用ください。

# 使用上のお願い

---

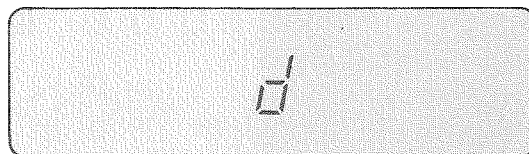
露付き(d)の表示	80
エラーコード	81
日常点検/定期点検	82
取り扱い上のお願い	83
別売品について	84
こんなときは(Q&A)	86
アフターサービス	88



# 露付き (d表示)

■本機内部に露付きが発生すると表示管に“d”マークが表示されます。

そのまま数時間、“d”マークが消えるまでお待ちください。



\* dは英語のdew（露）の略です。

露付きとは、冬季に暖房した部屋のガラスに水滴が付くような現象をいいます。

## ■露付きが起きた場合

- 表示管に“d”が表示されます。
- “d”表示が消えるまでは、操作を行うことはできません。そのままお待ちください。（イジェクトは可能）
- 電源が“切”の状態ですぐに露付きが起ると、自動的に電源が入り、“d”マークが表示されます。
- カセットが入っている場合、中間イジェクト状態になります。
- カセットが入っていない場合は、“d”が消えるまではカセットを挿入することはできません。

## ■露付きが解除されると

- 通常操作が可能になります。
- カセットが入っていた場合は、停止状態になります。
- 録画中に、露付きが発生した場合、露付き解除後に再び録画状態に戻ります。

## ■露付きは進行中にもご注意

普通、露付きは徐々に進行しますので露付きが始まって10～15分間くらいは“d”マークが点滅しないことがあります。

特に部屋の温度や湿度が変わったときには、20分位たってからご使用ください。

## 露付きが発生しやすい条件は

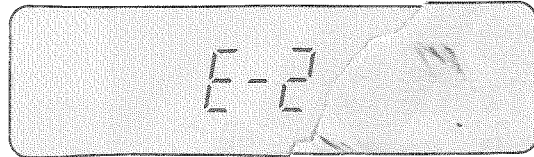
- 本機やカセットを温度や湿度差の大きいところに移動したとき
- 湿度の高いところ
- 冷房されているところから急に温度や湿度の高いところに移動したとき
- 暖房した直後の部屋

# エラー表示

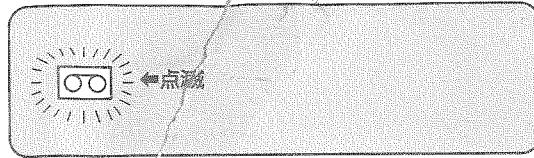
■本機に異常が発生すると、表示管にエラー表示を行います。

下記の指示に従って、対処してください。

■エラーコード表示



■カセットマーク点滅表示



機に異常が発生すると、表示管にエラー表示がでます。

表示管にエラー表示を行うことで、本機の異常状態を知らせます。

■エラーコードが表示されると

- すべての動作が停止します。
- 下記の対処を行っても、エラーが解除されない場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから外し、直ぐに販売店にご連絡ください。

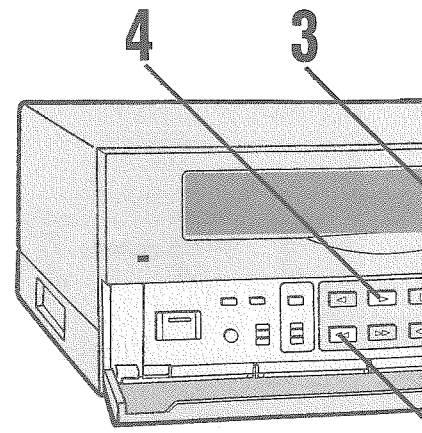
エラーコード表

エラーコード	内 容	対 処
E-2	エレベータ部分の異常	ビデオカセットが正しく挿入されていないと、これらのエラーが発生する場合があります。 再度電源を入れ直してみてください。
E-3	ローディング部分の異常	
E-4	シリンダ部分の異常	ビデオカセットの状態が悪いと、これらのエラーが発生する場合があります。 再度電源を入れ直して、ビデオカセットを交換してみてください。
E-5	リール部分の異常	
E-6	テープテンション異常	
E-7	リールソレノイド異常	再度電源を入れ直してください。
E-A	オーディオ記録回路の異常	再度電源を入れ直してください。

■カセットマークが点滅すると

	<p>記録チェック操作を行った後、ヘッド汚れやテープ劣化により、適正なビデオレベルが得られなかった場合、表示管のカセットマーク (  ) が点滅します。</p> <p>操作は継続できますが、必ずヘッドクリーニングまたはカセットテープの交換を行ってください。</p>
--	--

# 日常点検/ 定期点検



本機は、長時間の使用に耐えるように設計されていますが、日常点検、定期点検は必ず行ってください。

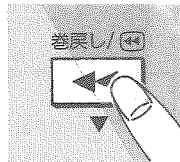
## ■日常点検

1

### 各機器の電源を入れる

- ・モニターテレビに正しい映像が出ていますか？
- ・日付・時刻は合っていますか？

2



前日に記録したカセットを少し巻き戻す

3



押して、時間モードを“2H”にする

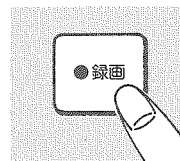
4



再生して、映像を確認する

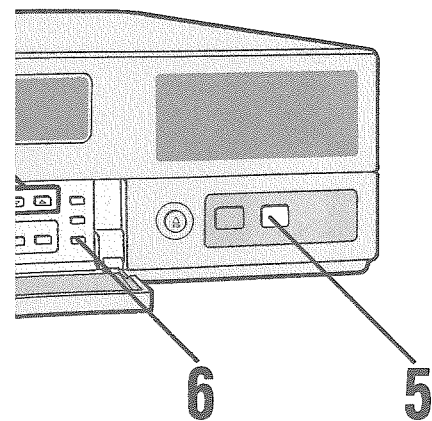
- ・再生画が正常ですか？
- ・記録した日付・時刻は合っていますか？

5



2時間モードで録画を試みる

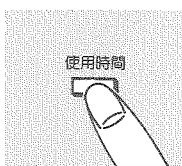
- ・録画した内容を再生して、異常はないですか？



## 定期点検

- 定期点検は、販売店で行う点検です。
- 定期点検を受ける目安として、本機には、総使用時間（シリンダーの総回転時間）を表示する機能（アワーメータ機能）があります。
- 総使用時間の値によって、本機内部の部品交換、清掃が必要です。
- 使用時間ボタンは本機のモード、録画ロックスイッチの設定にかかわらず、常に操作可能です。
- 詳しいことは販売店にご相談ください。

6



押す

表示管に総使用時間が表示されます。

1000H

## ノート

- 日常点検後、異常があった場合、「こんなときは(Q&A)」86ページを参照して、原因の解決を試みてください。
- それでも、異常状態が解決されない場合は、電源を切り、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、販売店にご相談ください。
- 特にオートリピート録画の場合、日常点検は怠らさずに行ってください。

# 取り扱い上の お願い

故障の原因になりますので、必ず守ってください。

殺虫剤や揮発性のものをかけない/  
変色や塗装がはげる場合があります。

本機の汚れは柔らかい布で拭き取ります。

- 中性洗剤を薄めたもので汚れを取ります。  
その後必ず乾拭きしてください。

本機の清掃にベンジン、シンナーを使用  
しないでください。

変色や塗装がはげる場合があります。

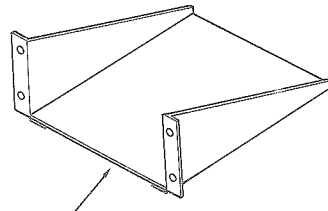
- 長時間ご使用になると、天板や後部が多少熱  
くなりますが、故障ではありません。
- 長時間ご使用にならないときは、機能に支障  
をきたす場合がありますので、ときどき電源  
を入れて、使用ください。

# 別売品について

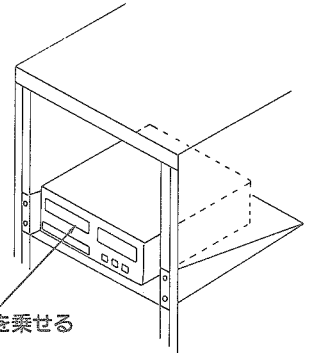
本機の機能をより良く、ご使用いただくために、いろいろなオプション（別売品）をご用意しております。

## ラックマウントアダプタAG-M670

ラックマウントアダプタAG-M670を使用すれば、本機を19インチ標準ラックにマウントすることができます。



AG-M670

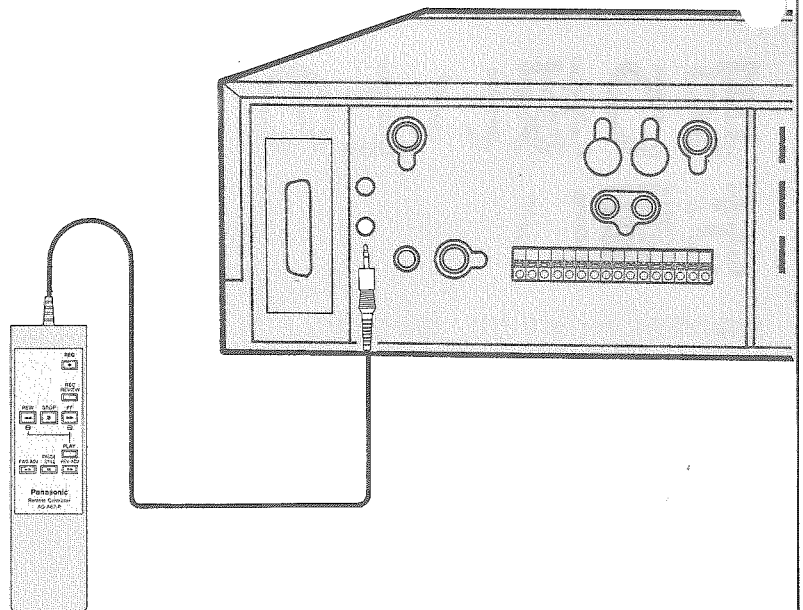


ビデオを乗せる

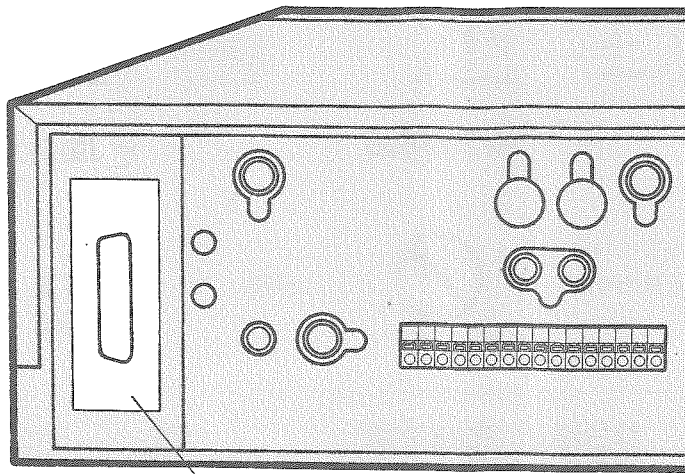
## リモートコントローラAG-A67

本機後面のリモコン入力端子に別売のリモートコントローラAG-A67を接続しますと、本機の操作ボタンに代わって離れたところから動作させることができます。

- リモートコントローラAG-A67で操作できるのは以下の機能です。  
録画 (REC)、録画チェック (REC REVIEW)、巻戻し (REW)、早送り (FF)、再生 (PLAY)、一時停止/静止 (PAUSE/STILL)、コマ逆送り (REV ADV)、コマ送り (FWD ADV)
- リモコン入力端子には、ヘッドホンなどを差し込まないでください。



# RS-232C インターフェースアダプタAG-IA670 (1992年秋頃発売予定)



AG-IA670

本機にRS-232Cインターフェースボードアダプタを装着すると、以下の機能が追加されます。

## RS-232C 通信機能

パーソナルコンピュータなどを使用して、本機を制御することが可能になります。

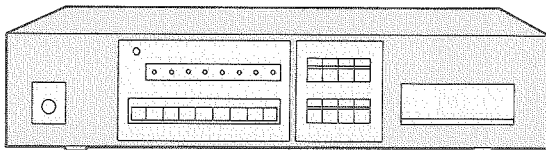
メニュー画面7 (RS-232Cパラメータ設定) が追加されます。

## VITCタイムコード記録/再生機能

テープ上にタイムコード信号を記録することができます。テープの絶対位置を知ることができ、検索などに便利です。

メニュー画面8 (タイムコードの設定) が追加になります。

# フレームスイッチャ WJ-FS10A (松下通信工業AVシステム事業部扱い)



8台のカメラ映像をフレームごとに切り換えて記録し、再生時には選んだカメラの映像だけを取り出して連続再生できます。

- 連続記録ならば、カメラ1台あたり1/30秒で切り換え、8台をわずかに約0.26秒の間に切り換えて記録しますから切り換えの死角が生じません。再生時は、フレームスイッチャを通して、同一カメラの映像だけを出力できます。

- 間欠 (タイムラプス) 記録でも、使用可能です。

- 例えば24時間モードの場合、0.2秒間隔で間欠記録を行い、0.4秒間隔でカメラを切り換えます。1台のカメラあたり2フィールド (1フレーム) ずつ切り換えて記録します。

- フレームスイッチャWJ-FS10Aをご使用になる場合は、メニュー画面4のカメラ切り換えタイミングモードを“TM1”に設定してください。(⇒51ページ)

- フレームスイッチャWJ-FS10Aは、本機の時間モードがL12、L18、L24では使用できません。

- フレームスイッチャWJ-FS10Aを使用するとき、VITCタイムコードを記録しないでください。再生時に誤動作を起こします。

## ●2時間/6時間モードによる連続記録(カメラ4台使用時)

### カメラ切り換えタイミング

1/30秒 (1フレーム) ごとに切り換えた信号をフレームスイッチャより出力。

### VTR記録画面

(1/60秒 (1フィールド) を連続記録)

### テープ上の記録トラック

1画面 (1フィールド) が1トラックに記録される。カメラ4台ならば8トラック (4フレーム) で一順する。

### 再生 (フレームスイッチャを通します)

(選んだカメラの映像だけを見ることができ)

(例) カメラ1を選んだ場合



## ●24時間モード (カメラ4台使用時)

### カメラ切り換えタイミング

0.4秒ごとに切り換えた信号をフレームスイッチャより出力

### VTR記録画面

0.2秒ごとに1画面 (1フィールド) を1/60秒間記録する。

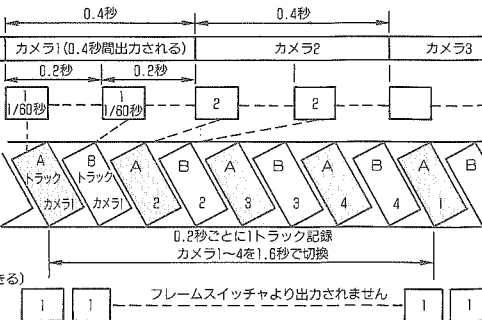
### テープ上の記録トラック

1トラック (1フィールド) 記録と一時停止をくり返す。カメラ4台ならば8トラックで一順

### 再生 (フレームスイッチャを通します)

(選んだカメラの映像だけを見ることができ)

(例) カメラ1を選んだ場合



# こんなときは (Q&A)

こんなときは…	ここを確かめて…	このようにします
---------	----------	----------

## ■電源

電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグを完全に差し込みます。
	●外部タイマーを接続していませんか？	外部タイマーを操作して通電状態にします。

## ■操作

操作ボタンを押しても、動作しない	●表示管にエラーコードが表示されていませんか？	81ページを参照ください。
	●表示管に“d”マークが表示されていませんか？	80ページを参照ください。
	●録画モードが“内部タイマー”になっていませんか？	録画モードボタンを押して、無表示にします。
	●カセットは完全に挿入されていますか？	カセットを正しく挿入し直します。

## ■録画

録画ができない	●カセットの“つめ”が折れていませんか？	40ページを参照ください。
	●カセットテープが終端になっていませんか？	巻戻しを行います。
	●一時停止/静止ボタンが押されていませんか？	解除します。
録画が停止できない	●録画ロックスイッチが“1”、“2”に設定されていませんか？	録画ロックスイッチを“OFF”に設定します。
停電復帰録画をしない	●1ヵ月以上停電していませんか？	70ページを参照ください。
内部タイマー録画ができない	●日付・時刻合わせが完了していますか？	日付・時刻合わせを完了させます。 (38ページ参照)

こんなときは…	ここを確かめて…	このようにします
---------	----------	----------

## ■録画

オートリピート録画ができない	●メニュー画面2の“TAPE END MODE”が“REPEAT”になっていますか？	“REPEAT”にします。 (47ページ参照)
アラーム録画ができない	●メニュー画面4の“MODE”が“OFF”になっていませんか？	“OFF”以外にします。 (50ページ参照)
	●アラームスイッチの接続は完了していますか？	接続を完了させます。 (74ページ参照)
テープ終端ブザーがならない	●メニュー画面2の“TAPE END MODE”が“BUZZER”になっていますか？	“BUZZER”にします。 (47ページ参照)

## 再生

再生できない	●録画済みのカセットが挿入されていますか？	録画済のカセットを正しく挿入します。
再生画にノイズがでる	●トラッキングがずれていませんか？	トラッキングボタンを押して、トラッキングの調整を行います。 (35ページ参照)
	●ヘッドが汚れていませんか？	別売のクリーニングテープで清掃してみてください。 それでも良くならない場合は、販売店にご相談ください。
	●テープが古くなっていませんか？	新品のカセットテープに交換してください。
再生画像が上下に揺れる	●モニタテレビの垂直同期が乱れていませんか？	モニタテレビの垂直同期を調整してください。

## ■時計表示

時刻が正しく表示されない	●内部バッテリーは十分に充電されていますか？	40時間以上の連続通電を行ってください。 (⇒39ページ) それでも正しく表示しない場合は、内部バッテリーの寿命が考えられます。 販売店に相談して、新しい内部バッテリーに交換してください。
--------------	------------------------	---

## ■メニュー画面

メニュー画面が表示されない	●ビデオが停止、イジェクト状態になっていますか？	メニュー画面は、停止、イジェクト状態の場合のみ表示可能です。
	●録画ロックスイッチが“切”になっていますか？	録画ロックスイッチが“1”または“2”に設定されていると、メニュー画面は表示されません。



# アフター サービス

## 1. 保証書—内容の確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## 2. 保証期間—1カ年

取扱説明書及び本体添付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合は、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
- (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合、その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
- (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
- (ヘ) 別に指定する磨耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷

## 3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機器維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

## 4. 修理を依頼されるまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「こんなときは(Q&A)」の項を点検していただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申し付けください。

## 5. ご転居、定期保守サービスなどご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

\* 磨耗性部品とは下記の部品類です。

- |         |        |         |
|---------|--------|---------|
| ・ヘッド類   | ・各種ベルト | ・ゴムプーリ類 |
| ・各種ブレーキ | ・モータ類  | ・ローラ類   |

# 定格

電 源：AC100V 50/60Hz  
消費電力：25W

■ は安全項目です。

一般		
許容周囲温度	5°C~40°C	
許容相対湿度	35%~80%	
外形寸法	380(幅)×112(高さ)×340(奥行き)mm	
重量	約7.5kg	
録画方式	回転2ヘッドアジマス記録方式 VHS/S-VHS規格	
テープ走行	3.335cm/sec(2時間モード) 1.11cm/sec(6時間モード)	
使用テープ	S-VHSテープ、VHSテープ	
録画時間モード	2/6/L12/L18/L24/24/48/72/84/120/180/240/480時間 1コマ録画モード	
早送り/巻戻し時間	約3分以内(120分テープ使用時)	
映像		
テレビジョン方式	日米標準テレビジョン方式 525本 60フィールド	
変調方式	輝度信号：周波数変調方式 色信号：低周波変換 $\pi/2$ 移相	
S映像入力(4P)	輝度信号：1.0Vp-p、75 $\Omega$ 不平衡 色信号：0.286Vp-p、75 $\Omega$ 不平衡	
ライン入力(BNC)	1.0Vp-p、75 $\Omega$ 不平衡	
S映像出力(4P)	輝度信号：1.0Vp-p 75 $\Omega$ 、不平衡 色信号：0.286Vp-p、75 $\Omega$ 不平衡	
ライン出力(BNC)	1.0Vp-p、75 $\Omega$ 不平衡	
水平解像度	白黒モード：300本以上(VHSモード) 400本以上(S-VHSモード) カラーモード：240本以上(VHSモード) 400本以上(S-VHSモード)	
S/N	白黒モード：46dB以上(2時間モード) カラーモード：46dB以上(2時間モード)	
音声		
ライン入力(ピンジャック)	-10dBv、入力インピーダンス47k $\Omega$ 不平衡	
マイク入力(M3)	-60dBv、600 $\Omega$ ~4.7k $\Omega$ 不平衡	
ライン出力(ピンジャック)	-8dBv、出力インピーダンス600 $\Omega$ 不平衡	
トラック数	1トラック	
S/N	43dB(2時間モード)	
周波数特性	50Hz~10,000Hz(2時間モード)	
ターミナル部		
入力	アラーム、アラームリセット、1コマ録画、シリーズ録画、時刻合わせ	
出力	アラーム復帰、テープ終端、オートオフ、露付き、録画、録画チェック、シリーズ録画、アラーム出力、時刻合わせ	
その他		
リモコン端子(M3)	リモートコントローラAG-A67(別売品)専用端子	
付属品		
電源ケーブル	1本	

# メニュー画面の機能別索引

機能	メニュー画面	ページ	機能	メニュー画面	ページ
A~Z(アルファベット順)			自動時刻合わせ機能の時刻設定		
S-VHS 録画モードの設定	画面3-4	49	自動時刻合わせ機能モードの設定	画面3-6	48
			自動録画機能の設定	画面2-2	46
ア行(以下50音順)			タ行		
アラーム入力時のオートリワインドの解除	画面2-4	46	タイムコード記録のON/OFF★	画面8-2	58
アラーム録画間隔の設定	画面4-2	50	タイムコードの挿入ライン設定★	画面8-3	58
アラーム録画時間モードの設定	画面4-1	50	タイムコードのプリセット値設定★	画面8-4	58
アラーム録画時のカメラ切り換えタイミング設定	画面4-6	50	タイムコードモードの選択★	画面8-1	58
アラーム録画時のカメラ切り換えモード設定	画面4-7	50	テープ終端での動作設定	画面2-3	46
アラーム録画時のブザーのON/OFF	画面4-3	50	通常画面の選択	画面1-1	44
アラームリセットパルスの受け付けレベル設定	画面4-5	50	電源出力端子の機能選択	画面2-6	46
オートリピート録画機能の設定	画面2-3	46	ナ行		
オートリピート録画時のアラーム入力設定	画面4-2	50	内部タイマー録画の設定	画面6	54
オートリワインド機能の設定	画面2-3	46	入力映像信号(LINE/S-VIDEO)の選択	画面3-3	48
カ行			ハ行		
カセット挿入時の動作選択	画面2-2	46	パリティビットの設定(RS-232C)★	画面7-3	56
カセット取り出しボタンの機能選択	画面2-5	46	パワーロスメモリーの表示	画面3-1	48
画面表示位置の選択	画面1-3	44	日付表示のON/OFF	画面1-5	44
画面表示文字の選択	画面1-2	44	1コマ録画のインターバル時間設定	画面5-2	52
カラー/白黒自動切り換え回路の設定	画面3-2	48	1コマ録画の録画時間設定	画面5-1	52
キャラクタ長の設定(RS-232C)★	画面7-1	56	ボーレートの設定(RS-232C)★	画面7-4	56
サ行			ヤ行		
ストップビットの設定(RS-232C)★	画面7-2	56	ユーザズビットのプリセット値設定★	画面8-5	58
時間モード表示のON/OFF	画面1-7	44	ラ行		
時刻表示のON/OFF	画面1-6	44	録画時間モードの選択	画面2-1	46
時刻表示(24時間制・AM/PM制)の選択	画面1-4	44			

(★マークは別売のRS-232CインターフェースボードAG-1A670を装着したときのみ表示されます。)

松下電器産業株式会社 ビデオシステム事業部

〒571 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)901-1161